第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

政策目標3

良好な環境が広がり快適に暮らせるまち

- 施策3-1 自然との共生社会の推進
- 施策3-2 循環型社会の推進
- 施策3-3 生活排水対策の充実
- 施策3-4 安全でおいしい水の安定供給
- 施策3-5 魅力的な都市空間の創造
- 施策3-6 公共交通体系の充実
- 施策3-7 道路環境の整備

担当課	環境課・産業課			施策3-10	の全指標達成	艾 率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	自然との共生社会の推進	指標数	12	12	12	12	12
月指す姿	市民・事業者・ボランティア団体の一人一人の取組により、豊かな自然や快適な生活環境が維持・	達成数	6	7	8	0	0
日担9女	保全されている	達成率	50.0%	58.3%	66.7%	0.0%	0.0%
		·	•			•	

	保全されて	เทอ		達成率	50.0%	58.3%	66.7%	0.0%	0.0%					
				+15+亜米5						1				
4 6	成果指標(KPI)			指標数達成数	3	3	3	3	3					
1 /	以来相様(NPI)			達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%					
			基準値	足以平	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		J為に寄せられる苦情	R1	目標値	17	17	16				323011			
指標 1	件数	3.0.00000000000000000000000000000000000	40#	実績値	35	36	28			件	環境課			
ı	11.20		18件	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以下				
目標	直公害に関する	迷惑行為をしないように広	報等を通り	じた啓発	等を実施す	することで	、苦情案件	への指導	<u>.</u> が減少する	効果	を考			
の	慮し、目標値	を設定												
考え	5													
成果		V -1 /-+/	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課			
指標	: 多暖勁ਆのス	₭惑行為に寄せられる	R1	目標値	26	23	21	18	15	件	TERL 147 = CR			
2	苦情件数		30件	実績値	37	42	36			N.E	環境課			
□ +m/	ま 飼養している	愛護動物の適切な管理につ	 ハア広報9			× 未達成 を実施する		る効甲を老	 	以下 傾を	≕☆			
目標の	国内民のころ	を受動物の週のな旨注にフ	VICIDEIX-	中で通じ		と大肥りる	CCICO	リが木でら	思し、日気					
考え	方													
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		整備計画に基づき間伐	R1	目標値	16.8	18.3	19.8	22.1						
181 217 239														
5	TS.Oria 評 価 達成 達成 達成 以上													
目標	値 伊東市内の森林において、過去に実施した間伐面積の年平均が1.54haであったため、各年度の間伐実施面積を1.5ha/													
の	年として見込み、累計22.8haと設定した。													
考え		// the control with the training of the control with the	+1, 1, -1-		- \ 	. *** 		W W L L CO LT I	++					
		公害に関する迷惑行為をします。							値を上回っ ₹					
R		・引き続き公害に関する迷惑・飼養している愛護動物の適							ナロ挿店をし	-6-	+=			
3年		・引き続き飼養している愛護									آٽ،			
度		・R3年度目標の16.8h a を												
	(次年度修正点)		<u></u>	111461	三川 〇年/200	11 1 + 12 C			V · \0					
		・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	たが、苦情の	牛数は目標値	直を上回った	= .				
R	(次年度修正点)	・引き続き公害に関する迷惑	行為をしな	いように	、広報等を	通じた啓発	等を実施する	న 。						
4	2 (実績評価)	・飼養している愛護動物の適	切な管理に	ついて広	報等を通じ	た啓発等を	実施したが、	苦情件数は	は目標値を」	<u> </u>	た。			
年	(次年度修正点)	・引き続き飼養している愛護	動物の適切	な管理を	するように	、広報等を	通じた啓発	等を実施する	న 。					
度	_	• R4年度の目標値18.3haを		.7haを割	怪備し目標達	፤ 成。								
		・ 令和5年度も継続して整備		c++0 <i>**</i> * +	- \'S \' + = = t 2\'	かた中かし	+ + ° ++ · · +	L *L	±++	_				
	1(美領評価)	・公害に関する迷惑行為をし	ないように	-仏教寺で	理しに啓発	寺を実施し	にか、古情1	件数は日標1	■を上回った	Ξ.				
	(次年度修正占)	・公害に関する迷惑行為をし	たいように	- 広報等	を通じた改	発等を強化	すス							
	(水平及 多丘無/	五日に関する歴念日間でし	100 JIC	· / ///			9 00							
R	2 (実績評価)	・飼養している愛護動物の適	切な管理に	ついて広	報等を通じ	た啓発等を	実施したが、	苦情件数は	は目標値を」	<u> </u>	た。			
5														
年	(次年度修正点)	・飼養している愛護動物の適	切な管理を	するよう	に、広報等	を通じた啓	発等を強化	する。						
度														
	3 (実績評価)	令和5年度の目標値19.8ha	aを上回る2	23.9ha 5	を整備し目標	きを達成する	ことができ	た。						
	()为左连地工 上)	(単4年) アネ++*が世ナケーテ	1)/											
	(次年度修止点)	・継続して森林整備を行って 	U1<.											
	1 (達成状況)	_												
		D												
	(実績評価)	・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	、苦情件数	は減少しつ:	つあるものの	り、目	標値を			
		上回った。												
	(今後の対応)	・公害に関する迷惑行為をし	ないように	、広報等	を通じた周	知啓発等を	強化する。							
ф	a / /± -± -15 /= /													
'	2 (達成状況)	D												
間	(実績評価)	・飼養している愛護動物の適	切た答明に	ついては	胡笙た洛川	た政科学を	宇施し、ギ	害什粉叶油	以傾向である	スナハ	ДΡ			
	(大視計圖)	・ 則食している愛護動物の適 標値を上回った。	別は日廷に		ませる語し	ルロガ守で		月17女は水分		ر⊍ن لو				
評	(今後の対応)		切な管理を	するよう	に、県保健	所と連携し	て広報等を	通じた周知	啓発等を強化	とする	0			
/#F				2 00.3				, - , - , - , - , - , - , - , - , -	_, 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					
価	3 (達成状況)	Α												
	(実績評価)	・令和3年度から令和5年度の	全ての年度	せで目標(直を上回る整	整備を実施で	できた。							
	(合然の計画)	。 司之 はき 伊恵士木++乾世	計画に甘る	キャナナボ	歴を年 - マ	11/								
	(ラ俊の刈心)	・引き続き、伊東市森林整備	可じし全づ	は対策の	≧ 佣 を 付 つ (V1C.								

					指標数	9	9	9	9	9		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	5	6	7	0	0		・主な内 の達成状
					達成率	55.6%	66.7%	77.8%	0.0%	0.0%	況	
					指標数	1	1	1	1	1		
(01	1 快適な生活環境の確	保	達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		騒音・振動・悪臭・野焼 き等や愛護動物の不適切		R1	目標値	3	3	4	4	5	件	
	0	101 な飼育に係る市民への指導及び未然防止のための	合発のにめの	3件	実績値	4	5	5				環境課
		容発活動の実施		OH-	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	
年	R 3	0101 広報による公害及び	愛護動物の不適切な	飼育を防止	する啓発	終活動を実施	し、公害及	び愛護動物の	の不適切な的	飼育の防止に	こ努め	た。
度評	R 4	0101 広報による公害及び	愛護動物の不適切な	:飼育を防止	する啓乳	注活動を実施	し、公害及	び愛護動物の	の不適切な的	飼育の防止に	こ努め	た。
価	R 5	0101 広報による公害及び	愛護動物の不適切な	:飼育を防止	する啓発	発活動を実施	し、公害及	び愛護動物の	の不適切な飲	飼育の防止に	こ努め	た。
		0101(達成状況) A										
F	中											
ſi	₩	(今後の対応) ・引き続きいの防止に努る	な報による公害及び かる。	愛護動物の	不適切な	飼育を防止	する啓発活動	動を実施し、	公害及び愛	を護動物の 不	適切	な飼育

10	(今後の対応) ・引き続き広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育 の防止に努める。													
						+匕+西米/1	3	3		3	3	1		
()2	○ ぶ 誰番かん	D適正飼育の	つ推進	達成状況	指標数達成数	2	2	3	0	0			
) _	2 多读到初0	プ週正則目の	力推進	達成扒沉	達成茲	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%			
		 主な内		管理指標	基準値	连队华	R3	R4	R5	R6	R7	畄台	担当課	
		エなり	-	6年1日际	A File	目標値	1	1	1	2	2		にコー・ホー	
	\cap')()·[)適正な飼育	上 広報件数		実績値	2					件	環境課	
	0,	一 方法の啓乳	Ě	M+XIT XX	1件	評価	_	〇 達成	〇 達成			以上	坏玩味	
				狂犬病予防注射の	R1	目標値	1	0 1	1	1	1			
	0:		5注射の接種	未接種者への督促		実績値	1		1	,			環境課	
	٠.	指導		ハガキ発送回数	1 🗆	評価		〇 達成	O 達成			以上	2000	
		飼い主かい	たい猫 (のら	飼い主のいない猫	R1	目標値	85		93	97	100			
	O:	203 猫)の去勢		の去勢・不妊等手		実績値	75			<u> </u>	, , , ,	件	環境課	
	-	対する補助		術補助金交付件数	38件			× 未達成	× 未達成			以上		
		0201 愛護動物	勿の適正な飼育	」 育方法の啓発を実施	し、愛護動									
	R													
	3													
		0203 引き続き	き広報いとう	等により周知啓発を	実施し、飼	い主のい	ない猫の繁	^終 殖を防止す	ることで、	生活環境の個	呆全を図る。			
		0201 愛護動物	勿の適正な飼育	育方法の啓発を実施	し、愛護動]物の適]	Eな飼育をす	「るように努	めた。					
年	_	0000 VT 10-	30±12 61±1±6	** • • • • • • • • • • • • • • • • • •	************	· * = + - 1	1- 77 · 1 · -							
年度	R 4	0202 狂大病:	予防汪射未接权	重者への督促ハガキ	等により接	極半回上	こに努めた。							
評	4	0002 広報1)	トンダニトル	周知啓発を実施した	がロ擂ち	マサウスコ	E たかった	○ ※ 广部	リントシハロ	r+ v i	ロラザジンル	か こ N I C	でをおけ	
価		0203 四報いる	- つきによりに 見知方法を検討	司和合発を美胞した 計していく	.か、日信を	達成して	きなかうた。	フ仮、仏都	いてつ以外	にも、メー	レマハシノハ	102111	つ守で心	
				ううという。 育方法の啓発を実施	11. 愛護動	物の滴す	Fな飼育をで	おように努	めた.					
		0201 交吸到1	WONGTE, CREEK		2000	14/00/2/2011	ב ש המאטים		ارمارده					
		0202 狂犬病	予防注射未接利	重者への督促ハガキ	等により接	種率向上	に努めた。							
	R 5						,							
	J	0203 広報いる	とう等による原	周知啓発や去勢・不	妊手術に対	する補助	か金の要綱の)改正を実施	し、飼い主	のいない猫の	の繁殖を防止	上する	こと	
		で、生活	舌環境の保全を	を図ったものの、目	標値には届	かなかっ	った。引き組	続き、広報い	とう等によ	る効果的な原	周知啓発を引	蛍化し	、飼い	
				を防止することで、	生活環境の	保全を図	<u>ජ</u> ්රං							
		0201(達成	状 況) A											
		(実績評価)	• 恶誰動物の	適正な飼育方法の	攻発を宇施	1. 磁罐	動物の済正	た飼育をす	ストカニ奴x	カ た				
		(美順評圖)	~ 友 □支 到 柳 ♡ 』	旭正は即日ノルツ	コガセ大ル	ひ、夕岐	(主力イのマンル型111	は関目です	30 JC50	الره				
		(今後の対応)	引き続き愛	を護動物の適正な飼 え	育方法の啓	発を実施	し、愛護動	物の適正な	飼育をする。	ように努める				
		() (20)/(3/(0))	310//0109	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	3/3/200		10 (Sux 1/3	1.00000	23/3 6 7 60	,, 5, 6,5,0,0	• 0			
)	O2O2(達成	状 況) A											
Р	8	/2/												
E]	(実績評価)	• 狂犬病予防	注射未接種者への	督促ハガキ	等により	接種率向上	に努めた。						
=	17													
<u> </u>	Ť	(今後の対応)	引き続き狙	E犬病予防注射未接種	種者への督	促ハガキ	等により接	種率向上に	努める。					
ſā	fi													
IL	п	0203(達成	状況) D											
		(ch / = == / ==)	C+101 \ L =		小士劫 ア	计工化厂	さます フ *** D+	△○亜@○	ルエを向かり	\$∃1 \ - 7) \ t= \ X++ \ \	気を見せ	/-	
		(実績評価)		等による周知啓発・生活環境の保全を					以止と実施し	人、則(1土()	いるい強の	ノ茶畑	る物圧	
		(A% 0 ++ t=)							オフーレブ	井江西京		,		
		(今後の対応)	・仏報いとこ	等による周知啓発	と独化し、	的い土の	ころころ	紫畑を防止	9 OCC C.	土冶境項()	川末王を図る	00		

						指標数	4	4	4	4	4		
C	3	森林環境整	整備の促進		達成状況	達成数	2	2	3	0	0		
F		~ 		ARTOLIC LE	++ >44 /	達成率	50.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	X (-L-	+D VIV=B
-		主な内容	学 	管理指標	基準値 R2	目標値	R3 25	R4 25	R5 25	R6 25	R7 25	単位	担当課
	030		与税を活用	森林現地調査実施		実績値	33.9			25	25	ha	産業課
		′′ した森林整	備の促進	面積	23.8ha		〇 達成	× 未達成	· ·			以上	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
				尺間回体による本	R2	目標値	25		25	25	25	bo	
	030)2 森林保全活	動の支援	民間団体による森林整備面積	25.6ha	実績値	11.7		9.9				産業課
_					R2	評価		× 未達成		4.0	4.0	以上	
	വദവ)3 森の力再生	事業の促進	森の力再生事業整	ñ∠	実績値	1.0	-	1.0 18.72	1.0	1.0	ha	産業課
				備面積	1.47ha		× 未達成		〇 達成			以上	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
				森林整備に係る事	R1	目標値	3		3	3	3		
	030)4 林業に係る	広報の強化	業等についてHP 更新回数	1 🗆	実績値	3						産業課
		201 R3年度	日煙の25k	aを上回る33.9	りりった軟化		O 達成	○ 達成	○ 達成	1.) <		以上	
		IOUT NO+反	日宗のとり口	az_033. 8	かい るで 登り	用し圧成、	、八千十反		主用で11 ノ (-01~0			
	0	302 森林所有	す者や地域住居	民等が協力して森林	の有する機	能を発揮	させるため	の保全活動	の取組に対	して支援した	こが目標達成	なには	至らな
	R	かった。	=)	/ 	124/2-014	· 			() to 5 + ="	(10 = ±4\4+1=	- 1 77 . 1	
	3 0			心に整備を進めてい った	く中で、地	域任民や	P森林ホフン	ノティアと協	働した市民	参加の森つく	くりの推進に	二劣め	たか目
	標達成には至らなかった。 0304 目標数値である3回更新を行った。R4年度も継続して更新していく。												
	0304 自信数値である5回更利を打りた。 h4年度も経続して更利している。 0301 現地調査候補地を策定するうえで、観光施設、学校周辺の森林に絞って策定した結果、目標数値である25haを下回る結果となっ												
年	0			定するうえで、観光 査する森林を厳選し				策定した結	果、目標数	値である25	haを下回る	S結果 d	となっ
	0			動している民間団体				至らなかっ	たが、今後	七森林保全 流	舌動に取り糸	目んで	いる民
度	R			していきたい。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				72.5 () [O 1/1/11 PN = 2/1			
評.	4 0	303 目標数値	である1haを	を上回る1.86haを	整備をし目	標を達成	战、令和5年	F度も継続し	て行ってい	<.			
価		304 日標数値	すである3回	更新を行った。令和	5年度も総	は続して 乗	動していく						
ш				C491 C13 27C6 1310			24910000						
	0			^{木整備箇所を策定する} て整備する箇所の現					高い森林から	ら整備するこ	こととしてお	3り、=	合和6
				C整備する固別の現 本が減少しているた					保全活動に	取り組んでし	ハス民間団ク	木(二文)	して支
	R	援してい	いきたい。						- 水土/山坳(C.	ax y iim r o c o		F-1C/J	
	5 0	303 目標値を	を大きく上回る	る18.72haを整備し	ノ目標を達成	或した。	継続して行	っていく。					
	0	304 月標値で	*ある3回更新		て更新して	(,)<.							
		00 1 2 13/12		12132720 1121900	252-1710								
	0	301(達成:	伏 況) B+										
		宝繕証価)	・ 令和ら任度	で でんけい でんけい こうない こうない こうない こうない こうない こうない しゅう	事新し, 森:	林整備の	優先度を決	定1. 令和	3年度から3	か年かけて	整備する簡	所の穏	計地調
	()			ま果、目標値を上回っ		TTE H 0 2	接加及で外	VE 01 134.01	5 + 12/5 5 C	73 7 317 C	正隔夕〇四	171022	6/0/2/20
	(≤	今後の対応)	• 森林整備で	できる箇所の選択肢を	を増やすた	め、今後	も引き続き	目標値を上	回るよう候補	博地の選定及	び調査を行	う。	
		302(達成:											
		002 ()		J									
	・ (実 績 評 価) 「・活動団体が減少しているため目標値に至らなかった。												
ф) (実績評価)	• 活動団体カ	が減少しているためE	目標値に至	らなかっ	た。						
) (<u><</u>							1.ていきた					
中間) (<u><</u>	実績評価)		が減少しているため 体保全活動に取り組ん				していきた	ν)°				
· 問			今後も森林	林保全活動に取り組ん				していきた	, \ ₀				
問評		今後の対応)	・今後も森林 状 況) <mark>B+</mark>	林保全活動に取り組ん	んでいる民	間団体に	対して支援			幸成した。			
· 問		今後の対応) 303(達成: 実績評価)	・今後も森林 状 況) <mark>B+</mark> ・令和5年度	株保全活動に取り組ん 	んでいる民 (上回る18	間団体に 3.72haを	対して支援	か年の目標	値もすでに	達成した。			
問評		今後の対応) 303 (達成: 実績評価) 今後の対応)	・ 今後も森林 状 況) B+ ・ 令和5年度 ・ 意欲のある	株全活動に取り組ん は目標指数を大きく の企業に対し積極的に	んでいる民 (上回る18	間団体に 3.72haを	対して支援	か年の目標	値もすでに	達成した。			
問評		今後の対応) 303(達成: 実績評価)	・ 今後も森林 状 況) B+ ・ 令和5年度 ・ 意欲のある	株全活動に取り組ん は目標指数を大きく の企業に対し積極的に	んでいる民 (上回る18	間団体に 3.72haを	対して支援	か年の目標	値もすでに	達成した。			
問評		今後の対応) 303 (達成: 実績評価) 今後の対応)	・今後も森林 状 況) B+ ・令和5年度 ・意欲のある 状 況) A	株全活動に取り組ん は目標指数を大きく の企業に対し積極的に	んでいる民 (上回る18 に情報を提	間団体に 3.72haを	対して支援	か年の目標	値もすでに	達成した。			

											_	
					指標数	1	1	1	1	1		
(04	- 林業に関する担い手の	の育成	達成状況	達成数	0	1	1	0	0		
					達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		計画的な森林整備事業	本サロヘばむそか	R1	目標値	50	50	50	50	50	1	
	O	401 推進による林業者の就	森林保全活動参加 者数	41人	実績値	47	57	55			^	産業課
		業環境の確保	日奴	41人	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成			以上	
	R	0401 森林環境の保全と森林		援を活用し			事前環境保	全啓発活動の	の実施を通っ	手通して行:	ったか	、目標
年	3	値には至らなかった。	R4も引き続き事	業の推進を	行ってい	<.						
		0401 目標数値である50人	を上回る57人が森	林保全活動	に参加し	月標達成。	令和5年度	も継続して行	行っていく。			
度評												
価	R	0401 目標数値である50人	を上回る55人が森	林保全活動	に参加し	/目標達成。	継続して行	っていく。				
	5											
		O4O1 (達成状況) B+										
_	Þ		ı									
F	間	(実績評価) •森林環境の	保全と森林整備活動	動、森林支	援を活用	した機器の	· 操作指導、 ·	事前環境保全	≥啓発活動 <i>0</i>)実施を诵年	涌し	て行
	评		値を上回る人が参加								•	
	<u> </u>		動を行っている活動		を引き続	き行ってい	<.					
		WHITE THE	12/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/	,, L • , / / / / / / / / / / / / / / / / / /	23,0100	C13 2 CV.	• 0					

担当課		環境課			施策3-20	の全指標達成	戊 率	
政策目標	新日標 3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち		年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2 循環型社会の推進		指標数	12	12	12	12	12	
月指す姿	z	市民、滞在者、事業者がごみの減量・資源化と温	達成数	6	5	6	0	0
日担分支	ζ	室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる	達成率	50.0%	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%

			指標数	2	2	2	2	2	1					
1 1	成果指標(KPI)		達成数	2	2	1	0	0	1					
. ,			達成率	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%						
, c		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果 指標		R1	目標値	29,696	29,548	29,399	29,250	29,101	_					
1日份	可然にみの排出重	30,758 t	実績値	28,208	28,450	27,781			t	環境課				
			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以下					
目標		の将来人口	予測とこ	ぶみの排出	印制施策や	減量化施策	による効果	果を踏まえ	に、目	標値				
マク キュー														
考え	7	+**		D0	D.4	DE	50	D-7		+0 \V=8				
成果	リサノカリ本(松次海ル島/松ご	基準値	口抽法	R3	R4	R5	R6	R7		担当課				
指標		R1	目標値	18.00 18.43	18.50 18.87	19.00 18.04	19.50	20.00	%	環境課				
2	の里)	17.85%	実績値評価	〇 達成		× 未達成			以上					
口+西	 過去のリサイクル率を元に、市民に対す	_ tス海正た4					- トス効甲:	 た欧キラ		値を				
目標の	記定	2 の福田(4)	しいり	い区で対けて	る回口の貝		- 6 る 2 M 未 1	と回る人、	口作					
考え														
	1 (実 績 評 価)・コロナ禍による社会経済)	舌動の縮小も	あり、F	標を達成し	た。									
R	(次年度修正点) ・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。													
3	(次年度修正点) ・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。													
年	2 (実績評価)・分別収集の定着により目標	票を達成した	-0											
度														
	(次年度修正点)・可燃ごみに混入されている	るリサイクル	できるこ	ごみの一層の	分別を図る	0								
1 (実績評価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まり														
	「(美瀬評価)・コロノ桐からの社会経済) ら、目標を達成した。	古野り凹後に	より排正	重は削牛屋	より追加し	たが、人口)	見る ひりりっ	「ンル思感の	り向よ	17/31				
R	(次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き	き排出畳の減	景を図る	<u> </u>										
4	(人子及修正無) 日宗廷成に同りて引き続い	こJF山里VJ//9		,										
年	2 (実績評価)・分別収集の定着により目標	票を達成した	-0											
度														
	(次年度修正点)・可燃ごみに混入されている	るリサイクル	できるこ	ぶみの一層の	分別を図る	0								
	1(実績評価)・新型コロナウイルス感染物も予想されたが、目標を				とにより、	社会経済活動	動が本格的は	こ活発化し、	排出	量の増				
_				-										
R	(次年度修正点)・目標達成に向けて、引き約	元さ排出重の	別型を図	් බං										
5 年	2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量	量等の減小か	ら、 今和	15年度は日	標を達成でき	きなかった								
度		E 0 00//00 /0	J(1510	10 1/2/01	IN CALIN C	2.00.0 2.00								
	(次年度修正点)・「環境衛生だより」やイン	ソターネット	等の広報	手段を用い	、リサイク	ル意識の向」	上を図る。							
	1 (達成状況) A													
		1-+111	4.11.	MAD 1 + + *	A105 F ==	H0T07	いエいた	1+ 1 C ==	F + \ + .	++7				
中	(実 績 評 価) ・令和3年度から令和4年度 ことができた。	にかけては	非出重かり	温川 したか、	市和5年度	は2万8十 t	以下となり	人さく目標	を達用	以96				
	(今後の対応)・引き続き、排出量を減少	さけるための	体筆た地	#オス										
間		_ C 0/C 0/C 0/C	יייפיאים זו	正 9 る。										
=177	2(達成状況)													
評	2 (達成私流) C													
価	(実 績 評 価) ・令和5年度はリサイクル率						きてカイロの	回収等によ	いりり	サイク				
ІШ	ル品目を増やしており、これ								V					
	(今後の対応)・リサイクル意識の向上を関ロ収援関東業務照念制度					.ついて工夫	を重ねてい	くとともに、	、資源	にみ集				
	団回収奨励事業報奨金制度に	こりいくも、	懐云を抑	えて仏教し	CUICO									

						指標数	10	10	10	10	10		本的な取
2	2 1	基本的な取組(2	2桁コード)	・主な内容(4桁=	リード)	達成数	4	3	5	0	0		・主な内 の達成状
						達成率	40.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	況	
						指標数	1	1	1	1	1		
	01	ごみ発生抑	即制の推進		達成状況	達成数	0	0	1	0	0		
						達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	字	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			発生を抑制す 発(生ごみの	生ごみ処理容器等	R1	目標値	30	30	30	30	30	件	
	0-	101 い切り、食		設置費補助金交付設置数	26件	実績値	28	29	50			''	環境課
		り、生こか 費補助金の	処理器の購入 交付等)		2017	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成			以上	
年	R 3	0101 生ごみ処	0.理容器等設置	置費補助及び環境衛	生協会によ	る生ごみ	の水切り用	具の配付に	よる家庭ご	みの抑制に勢	らめた。		
度評	FR			こよる家庭用生ごみ て、市外への拡大も			の周知を図	ったが、目	標値を下回・	ったため、「	市内の事業所	近に限	定して
佃	R 5	0.0.		(毎年度10月発行) 置数が伸び、目標を				補助制度の記	記事が注目さ	れるようエ	夫を凝らし	たこ	と等に
		0101(達成)	伏 況) <mark>B+</mark>										
	中間評	(実績評価)	・設置数もさ 考えられる。	ることながら電話で	での問い合	わせ等も	増えている。	。家庭ごみの	の発生抑制に	本制度がよ	り効果を上	げて	いると
1	価	(今後の対応)		生ごみ処理容器等の表も可能としたこと						はその制限	を撤廃し、	イン・	ター

		- hn TIII 🚓 +#4 \	. / -)+ + I))	指標数	2	2	2	2	2			
O	2 ごみの適正	処理の推	進	達成状況	達成数	0	0	1	0	0			
_	<u></u>	-	ACTES+ES+ES	# <i>*</i> ##	達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	324 /-L	+□ \/.==	
_	主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課	
		然防止策の	新規看板設置件数	R1	目標値	10 20	10 17	10 23	10	10	件	T00 144 = 00	
(D2O1 一環として 置	の有板の設	/年 ※1	14件	実績値評価	→ <u>∠</u> ∪ × 未達成					以下	環境課	
-				R1	目標値	240	240	240	240	240			
		パトロールの	啓発のためのパト	13.1	実績値	239	237	324	240	240	\Box	環境課	
(強化		ロール日数	240⊟			× 未達成				以上	垛况床	
	0201 不法投车	€されている!	」 易所に看板、悪質な	場合は防犯					め. 日標値に	L こ達しなか・			
F	R	(0,000)		200 100 900 50	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,) / LP/JILIC/J	05 (0.0/0		CÆ 0.0.0	ی ر ر		
	3 0202 年2回の静岡県統一パトロール及び業務車両運行中の不法投棄パトロールによる不法投棄の未然防止及び発見、処理を実施した。												
	0202 年2回の前崎宗統一ハトロール及び業務車両連打中の不法技業ハトロールによる不法技業の未然的正及び発見、処理を実施した。												
年			き届かない土地が増						いる。人通り	りが少ないは	也区・	地域に	
度	· ·		炎があったときなど										
評価			ものの、勤務日数の ∃指しつつも、パト						今後も引き	続き、他の	業務と	の兼ね	
	0201 空き地等	・、管理が行る	き届かない土地が増	えてきてお	り、不法	投棄が発生	しやすい状	況となって	いる。				
	٦												
	0202 他の業務	Bとの調整に。	よりパトロール日数	を増やし、	目標を達	試すること	ができた。						
	0201(達成)	犬 況) <mark>D</mark>											
ф	(実績評価)		数が少ないことが	望ましいが、	、管理が	行き届かな	い土地が増え	えてきている	るため目標達	屋成が難 しい	\状況	にあ	
		る。 - エンナロ: 在 ナ	*** 	++ 4-	\++n. ->> -+*	764171	+ + 1 116	-+>	++0.75+8-2-1	·+1 · L = 1-	- n-L . 1 .	+	
間	(今後の対応)		「発生しないように、 目的であることから、						な投集かられ	はいように	心证	960	
評	0202(達成)	犬 況) B+											
価			だけでなく、令和な					ある旨の車両	貼付用のマ	グネット及	びべこ	ストを	
Ш			べの貸出しも行うな										
	(今後の対応)	・引き続き、	なるべく多くの日、	多くの地	域におい	てパトロー	ルができる。	よう努めてい	1<.				
	101		<u> </u>	LO ## (# · · · ·	- 1- CD: 1	_							

			_{羊プラフチ} 、	ックごみ防止		指標数	2	2	2	2	2		
(23		+フラヘテ: 重動の推進		達成状況	達成数	2	2	2	0	0		
		OTHER	主動の対比に			達成率	100.0%	100.0%		0.0%	0.0%		
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		市主催に」	よる海岸清掃	市主催海岸清掃	R1	目標値	1	1	1	1	1		
	03	301 活動の実施		実施回数	1 🗇	実績値	1	1	1				環境課
							○ 達成	○ 達成	〇 達成			以上	
			団体やボラン	海岸ごみ回収	R1	目標値	20	20	20	20	20		T@ 144 = B
	U	302 ティア団体 清掃活動の		回数	180	実績値評価	26	28	23			IVI L	環境課
				郊染症対策を実施し	5 A D =	01 100	〇 達成 に名団体 (達成人)ととも	〇 達成 に海岸清掃:	た宇体」 :	 伝送プニフ <i>=</i>	以上	デュケ
	R	を回収し		50未近別収で美肥し	、 3月00取	では、口・唯一		,	10.毎片月旅	△大川∪、/	サイノ ノヘ	ノッツ	この守
	30302 海岸清掃活動を実施する個人、団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。												
	0002 海洋消が泊到で天肥する個人、 図体が回収ひたとのの収集、建版などで又接び、 泊到してすい環境の維持にあめた。												
年				感染症の感染対策を	講じた上で	、5月の	最終日曜日	に各団体(人) ととも	こ海岸清掃	を実施し、※	毎洋ブ	゚ラス
送	R	チック	ごみ等を回収し	<i>)</i> た。									
年度評価	4	0302 海岸清排	帚活動を実施す	する団体が回収した	ごみの収集	、運搬な	どを支援し	、活動しや	すい環境の	維持に努めた	こ。		
100		0201 5 8 0 5	三级口間口にな	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に海岸津持	ち中佐し	海洋ゴニ	フェックブ	ごをも回収	1 1=			
	R	0301 3月01	取於口唯口に6	アンコン(人) 年回紀	に海圧消抗	で美胞し	へ 海汗ノノ	ステックこ	の守で回収	UIC.			
	5	0302 海岸清排	帚活動を実施す	する団体が回収した	ごみの収集	、運搬な	どを支援し	、活動しや	すい環境の	維持に努めた	ات.		
		0301 (達成	状 況) A										
		/ ch /# === /# \	ナシルのケン	注目にはまれる主	# T 42 2	H-155 A	くのせ 口が:	⇔hol ™r	もに効果をし	<i>ば</i> フー レカ	グスキアハフ	,	
	þ	(実績評価)	中土催の海岸	清掃には市内の事業	美川(2)合図(本寺、夕	くのロネか	多川し、傩	美に効果を1	こりることん	いじさしいる	0.	
	0	(今後の対応)	社会的に海洋	ごみへの関心も高く	くなってお	り、引き	続き多くの	方へ参加を[呼び掛けたい	١,			
E	1	-											
- 5	Ψ	0302(達成	状 況) A										
		/ ch / t = = / cm \		11+ fr = \T = 1 * 1 * 1		1 600	-112 - 112			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	TO 6800 #11 1		
ſā	5	(実績評価)		体等の活動日が土E 団体と連絡を取り						の通常では火	上埋か困難と	いるの	کر
		(今後の対応)		清掃活動団体やボー						こと単結し.ブレ	1/		
		(フ!をひ刈心)	TICITIC.	用价心到凹件(5/11)	777171	当体ハ.北	大しに肩押	ロ型ないる	ひひ ノメ抜る				

		晋愔学翌0	7万全国7万	温室効果ガス		指標数	3		3	3	3	3	1	
()4			当年のネスス 啓発・普及の	達成状況	達成数	1		0	0	0	0		
	ا ر	推進			X1/24/74/20	達成率	33.3%	,	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1	
		<u>」にを</u> 主な内:	 容	管理指標	基準値	22/24 1	R3		R4	R5	R6	R7	単位	担当課
					R1	目標値	1C	0	100	100	100	100		3
	O		基本計画の	各課計画の推進実	00.00/	実績値	85	6	88.5	63			%	環境課
		+01 推進		績の達成率	92.9%	評価	× 未達/	戊 〉	× 未達成	× 未達成				
		太陽光発電	等の再生可	太陽光発電等導入	R1	目標値	1C	0	100	100	100	100	件	
	O	402 能エネルキ	デーの普及啓	のための補助金交	100件	実績値	13	1	61	88			1+	環境課
		発		付件数		評価	○ 達成	; >	× 未達成	× 未達成			以上	
				アースキッズ等環	R1	目標値	85		865	873	881	889	人	
	O ₄	403 環境学習の	D実施	境学習参加者	847人	実績値	79	_	571	566				環境課
				700 - 27 101 - 2						× 未達成			以上	
	0401 環境基本計画に定める目標指標の中に環境に関するイベントや講座があるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の ら、不特定多数の人との接触を避け、イベントや講座を中止しているため、昨年度(86.4%)と同程度の結果となった。												観点か	
	C													
	3	R 3 0402 例年よりも申請数は多く、中でも高効率給湯器の申請数が増加した。												
	3 0403 新型コロナウイルス感染症の影響により環境学習への参加人数が増加しなかった。今後も啓発活動を続けていく。													
		0100 柳至山		い未近のお言にひり	块坑丁曰	(U) S (U)		0,0	مار کاری	ノ反し口元	山地でいいり	CVICo		
				感染症の影響からは				施る	されたもの	の、参加人	数等の目標を	を達成する	ことが	できな
年	(画が実行されるよう										
度	R 4	0402 一般的	に普及している	3高効率給湯器等を	対象外とし	たため申	計数が洞	少し	した。引き	続き広報い	とう等により	り周知啓発	を実施	してい
評価	4		が減力したこと	と等の影響により環	培学羽入の	(会加) 米	かがばカル	.t=	アーフキ	ブ重業の	対色を扩大	オス笙に上げ	∩≔t音	学羽关
1Ш		,	を増やしている		児子白、10.	沙沙川八女	X/J'1194'95'C	// _ 0	, アースイ	ツム事業の	刈家で加入。	るる年にみら	ソ垛児	于白沙
				次世代自動車への	転換など、	達成が容	易でない	施急	策ではある	ものの、関	係課へ協力を	を依頼して	<u>۱۱<.</u>	
		o_100 而与户	5h == # 5+* Dh 5+4	スレーナナムゲケト	10 + + ====	71-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	++1, -	+255 /:	# <i>+</i> T 🗆	++4 3	ナルナナナ	\ L = \\ L	L IO E	たいこな ジ シ
	R	0.00	別里を補助刈り していく。	象としたため前年よ	りも甲請数	は児別し	バこか、E		⊎を下凹つ	ににめ、51	さ続さ仏教し	ハとつ寺に	より向	知啓発
	5		<u> </u>	数は増えたが、ふる	ナレ数字の	T四+辛/ \ m	マの物会か	Coet /	ハーセート	たビブ 巛	*カレー アロギ	分生度を下げ	コッた	ーレか
				を増やしていくよう				'沙火'3	かしにこと	なこと、荷	数としては	別牛及ど下	回りだ	CC/J,
		0401(達成	状 況) D											
		(実績評価)	令和5年度	がら第三次伊東市E	環境基本計	画となり	、令和4	年度	までの第二	二次伊東市I	景境基本計画	三と各課の旅	策内領	容や施
			策数が変わっ	たので比較すること	とができな	いことか	ら、令和	5年	度の達成を	率のみで評価	置した。			
		(今後の対応)	関係各課に	施策実施を引き続き	き働きかけ	ていく。								
d	ь													
٦		0402(達成	状 況) <mark>C</mark>											
E	1	(中 /		静及している高効率	今 温架笙丸	油加动色	カレー.	事与	白動声を	は田が色とり	たが 日垣	亜州 粉 た 送 付	オオス:	- ナナ
	-	(実績評価)	できなかった		の物品する	開助对象	7rC U,	₹×	は日初半で1	用助対象とは	ノにり、 日信	京中奴 と 佳彦	(900	_CIA
8.	Ψ	(今後の対応)		-。 「報いとう等によりダ	効果的な周	知啓発を	宇施して	//<						
		ישווני אני עפו ע	JICINICIL	ATIAN C D TICK ()	うんこうろう	ハロガと		· · \	. 0					
ſđ		0403(達成	状 況) D											
		(実績評価)		ば少したこと等の影響 は学習の機会の減少								予の教室が洞	域少し/	きこと
		(今後の対応)	・引き続き環	環境学習の機会や参加	心者を増や	していく	よう関係	課等	うく働きかり	けていく。				

C		- 市役所地球温暖化対策	空中 行計画の		指標数	1	1	1	1	1		
	05	推進	R大TJiT回UJ	達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
		推進			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		温室効果ガスの総排出	また状態の温度が	R1	目標値	11,643	11,181	10,732	10,283	9,834		
	0	501 量を削減するための配	市有施設の温室効 果ガスの総排出量	14,034	実績値	13,720	13,691	13,180			t-CO2	環境課
		慮行動の実施	未乃入の心が出生	t-CO2	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以下	
	R	0501 新型コロナウイルス原						より自動車の				
	3	よる市施設使用エネル	レギーは削減したが	、小中学校	の空調説	3備が完備さ	されたことに	より、削減な	分を上回るし	_PG使用量(の増加]があっ
	ŦĹ.	た。										
度 R 0501 新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していたイベント等が開催されたため、観光施設の排出量が増加したが、電気使用量については昨年度と比べて削減されたものの、目標を達成することができなかった。今後も節電やごみの減量等温室効果ガス総排出												
0	Ψ ··\		て削減されたものの	、目標を達	成するこ	ことができな	かった。今	後も節電や	ごみの減量等	等温室効果力	リス総	排出量
11		の削減に努める。	フ佐! アナアいコエ	- JOH		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		0 70/W	ルサナフート	- +×		## /
	R	0501 コロナ禍の影響から© 成できなかった。引き			果刀人())総排出重を	即年度に比	八、3.7%自	川減りること	こかぐさにか	`、⊟	標を達
	5		されて別別に劣めて	VIC.								
		O5O1 (達 成 状 況)										
	中											
	間	() (1) (0) (100 /	影響から回復して			度、温室効	果ガス総排品	出量の削減を	を続け、対前	「年度削減率	き上	昇して
	評しいるものの、目標を達成することができなかった。											
	価		電等の温室効果ガス					レギー使用量	量の9割近く	を占める電	気使	用量に
		ついて、温室	効果ガスを削減で	さる料金フ	フンへの	変更を検討	していく。					

					指標数	1	1	1	1	1]	
	06	6 廃棄物処理施設の適う	正な維持管理	達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
	_				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		排出基準値1ng-TEQ/ MN以下、放流水質	ダイオキシン類 (1ng-TEQ/mN)	R1 1ng- TEQ/m³	目標値	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/MN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	ng- TE Q/m³	
	06	601 COD40mg/L以下、 SS90mg/L以下の基 準値内処理	放流水質 COD(40mg/L) SS(90mg/L)	N以下 40mg/L 以下 90mg/L 以下	実績値	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下			N mg/ L 以下	環境課
					評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年	R 3	0601 可燃廃棄物、不燃廃到	棄物、し尿処理の適	証管理によ	り、目標	標値を達成し	ている。 今	後も施設の	適正な維持領	管理に努めて	ていく	0
度評	R 4	0601 可燃廃棄物、不燃廃棄	乗物、し尿処理の適	i正管理によ	り、目標	標値を達成し	ている。					
価	R 5	0601 可燃廃棄物、不燃廃棄	棄物、し尿処理の適	証管理によ	り、目標	標値を達成し	ている。					
	0601 (達成状況) A											
間 (実績評価) ・機器等の点検の積み重ねにより、基準値内処理の達成となった。 評												
1	₩	(今後の対応) ・引き続き、	施設の適正な維持	管理が行え	るよう機	器等の点検	に努める。					

担当課	下水道課・環境課			施策3-30	の全指標達成	艾 率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	生活排水対策の充実	指標数	14	14	14	14	14
日指す姿	市民にとって適切な汚水処理により生活環境が向 上し、公共用水域の水質保全等が図られ、快適な	達成数	6	10	6	0	0
_,	正し、公共用が域のが負保主等が図られ、 保過な 市民生活を送ることができる	達成率	42.9%	71.4%	42.9%	0.0%	0.0%

												•	•	
				指標数		3		Ω		3	3	3		
1 5	成果指標(KPI)			達成数	L.,	3		3		3	0	0		
	_		++ >44 /	達成率		00.0%	10	00.0%		0.0%	0.0%	0.0%	W LL	+D 1/-B
			基準値	D.+#./+		R3		R4		R5	R6	R7	単位	担当課
		八代田橋	R1	目標値		2		2		2	2	2 2	mg/ℓ	下水道
		(BOD)	0.9mg/ l	実績値		0,8		0.7		0.7				課
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(200)		評価	0	達成	0		0	達成			以下	
成果		渚橋	R1	目標値		3		3		3	3	3 3	mg/ℓ	下水道
指標	(/3/11000	(BOD)	1.0mg/ℓ	実績値		0.9	_	8.0	_	0.9				課
	海域COD)	(200)	5.	評価	0	達成	0		0	達成			以下	
		伊東港中央	R1	目標値		2		2		2	2	2 2	mg/ ℓ	下水道
	(COD)		1.5mg/ℓ	実績値		1.5		1.3		1.4				課
		(000)		評価	0	達成	0		0	達成	- >		以下	
目標		非出基準)とし	、卜水道	整備によ	い	見好なな	K質	を保全	U,	将来に	渡って維	持していく		を目
か	_ 標とする。													
考え		- \						- (do= 1)						
R 3		を適正に処理する)水質	保全や	公界	は衛生の	回上	につなな	いるため、	卜水道未接統	市世市	टिश्राव
年度	- 12.000.01	実施し水洗化率			+	n								
度 R	(次年度修正点)・下水道接続						/ \ m	はよっ	-	I-0++	ジフナム	エーハギナヤル		1
4		を適正に処理する を実施し水洗化率			八八章	法王10	公牙	を倒生(ソ)	可工	にノなん	いるにめ、	下水坦木接触	市凹示	ار XI) 9
年	- 12.000.01	1			ショーセ	マルマ								
度	(次年度修正点) ・下水道接続 (実績評価)・生活排水を	が促進を継続し、 を適正に処理する					小や	舎生の	点 F	ニ つたナ	バスため	下水冶土控約	±###	I つかける
R 5		と実施し水洗化率			ノハトラ	マネナ (*	ムカ	く用エリカ	U) I	にンはん	J. @/C07.	下小坦木按照	小。 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	1CXJ 9
年	- 12.000.01	流促進を継続し、			>1-3	ヌかス								
度	(人,中及修正点) - 下小边接顺		五六 小鸡∪	小人员体土	-107	יסיראים •								
	(達成状況)													
ф	A A													
間	(実績評価)・生活排水の	D適正な処理に努	め、環境基	準(河川	IBO	D・ 海垣	đСС	DD)のE	目標	直を達成	えした。ま	た、公共水垣	の水質	質保全
評		D向上ため、下水												
価	(今後の対応)・今後も下力	x道接続の促進を	継続して進	めるとと	きに	二、生活	排力	くを適正	に処	理し公共	さ水域の水	質保全に努め	りる 。	

						指標数	11	11	11	11	11		本的な取
2	;	基本的な取組(2桁	コード)	主な内容(4桁=	リード)	達成数	3	7	3	0	0		・主な内 の達成状
		_ , _				達成率	27.3%	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	況	刀连风机
						指標数	2	2	2	2	2		
(D 1	下水道の健全	経営		達成状況	達成数	1	2	1	0	0	1	
						達成率	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	1	
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		八尚个类合計	出舟に甘	エッレ IDT田弗に反え	R2	目標値	50,0	50.0	50,0	50,0	50,0	%	エルギ
	0	101 公営企業会計 づく財務分析	刊及に母	汚水処理費に係る 経費回収率	50.5%	実績値	49.9	51.6	51.6			/0	下水道
		ンへにはない			JU.J /6	評価	× 未達成	〇 達成	○ 達成			以上	10本
		一般会計からの	の繰入金	甘港別場了今の割	R2	目標値	50,0	50.0	50,0	50,0	50,0	%	エルギ
	0	102 その他下水道		基準外繰入金の割合	444%	実績値	48.3	49.3	52.2			/0	下水道
		のあり方の検	討		44.4 /0	評価	〇 達成	〇 達成	× 未達成			以下	□本
												適正	
	R な使用料金の設定を行うなどの経営改善が求められる状況である。												
	3	0102 本指標にお		達成したことになっ	ているが、	基準外線	え金の割合	は昨年度に	比べて増加	している。糸	圣費回収率	引様の	経営改
左		善善が求めら 0101 目標値を若		71177 1000/IV	トが付まし	ハトナ	1 ス 木 1 比 1 声 1	おハア菜」	ノ低い粉店	ブちる			
年度	R			といるが、100%以上を行うなどの経営				-03016年6	人でい致旧	C0000			
評	4	0102 月標値を達						基準外繰入	金を抑制する	るための経営	対きが求め	かられ	<u>る。</u>
価													
		0101 目標値を若						こおいて著し	く低い数値	である。			
	R			を行うなどの経営				4₽3 Δ¢54∛	おもり アナリ	ハ共しノバリ	\#\\\	7	
	5	O102 使用料金の 適正な使用		さったことや維持官をを行うなどの経営				、樑人並領力	増加してあり	り者しく低い	い数値である	<u>ی</u>	
		0101(達成状》	兄) B+										
	L	 (実績評価) ・F	ヨ煙値を岩	: 汗上回っており実	着値は 上昇	傾向だが	100%	リントが望ま!	- いとされる	る木指標にお	いて茎しく	低い	め値で
	Þ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			見回びエ开	映画だら	. 100/0.	以上73 主任(JV 1CC1 16		,v.c.	1201	
F	1	(今後の対応) ・ 道	適正な使用	料金の設定を行うな	まどの経営	改善に努	めていく。						
=													
ſā	<u></u>	(実績評価) ・維持管理費は物価高騰等により増加傾向にあり、基準外繰入金は年々増加しており著しく低い数値である。											
		(今後の対応) ・道	迪止な使用]料金の設定や維持管	官埋費の増	めぼまる	この経営改	音に劣め(し	11<0				

					指標数	2	2	2	2	2			
(02	2 下水道施設の効率的	な整備促進	達成状況	達成数	1	0	0	0	0			
					達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		下水道区域の見直しも		R2	目標値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	ha	下水道	
	O:	201 含めた効率的な整備の	整備済面積/年	2.0ha	実績値	0.5	0	0				課	
		促進		_, _, _,	評価	× 未達成	× 未達成				以上	3 ,1	
		。。 主要幹線以外の枝線整	*# / ** / ** / **	R2	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha	下水道	
	O:	202 備	整備済面積/年	1,0ha	実績値	3.9	0.7	0.5				課	
		0004 772-17-17	甘べきは雨めにてま	また - モナ	評価		× 未達成		ᆍᇠᄼᄱᄓ	:出! セーレ:	以上	中生法	
	R	0201 アクションプランに を計上出来ず目標値		を付うたせ	50000、話	1事情により	1工事の進捗	が進れ、次	干侵へ繰り	返しにここ/	J, P,	夫領怛	
	3			ことにより). 広大な	7市民運動場	が整備面積	として計上	されたことが	から、日標値	直を大	幅にト	
	回った。 O2O1 現在川奈駅周辺に幹線を布設しているが、当該区域の汚水は国道までポンプで圧送する必要があることから、今年度設置予定のポ												
年	R									なったが、	来年度	ミポン	
度	R	プが稼働すると今年								- A = ====	0 m =	— — +0	
評価	4	O2O2 現在川奈駅周辺の面 ンプが稼働しないと	整備を行っているか 供用できない。この	、当該区頃	の方水に	は国道までホ てきょでき	ンフで圧送	する必要かる	あることかり	う、今年度記	设置予 女生的	定のボー	
ш		が稼働すると今年度								J. 7 (C/J. >	下十点	ハンノ	
		0201 ポンプに接続する汚								こめ、汚水草	幹線の	供用が	
	R	できなくなり、整備							-,, - 0 - , -,				
	5	0202 1100 0 101010 010							動となっただ	こめ、枝線(の供用	ができ	
		なくなり、整備面積	として計上できなか	いったことか	ら、整備	請面積が0.5I	haとなった	0					
		O2O1(達成状況) D											
		 (実績評価) ・令和5年度	むら供用するため	11李駅周辺(二 活水 幹	線の布設を3	単めてきたか	が 諸事情に	より丁重が	遅延し, 仕田	ができ	きた	
C	Þ		から、目標としてい						ひつエチル		,, ,	2,0	
		(今後の対応) ・令和6年度	の供用に向け工事の	の進捗を図る	る。供用 ⁻	することに。	より目標が達	権成される見	込みである	0			
間である。アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログには、アイログのというにはなりには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのというには、アイログのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのと													
1	平	0202(達成状況) С											
			Eから世田士フため!	11大町田竹1	ニンエュレキへく	白の七郎を	*	v =±=i=!~	トルエ声が	宏江 1 44 田	+v*-~=	E + 2	
1	⊞		をから供用するため) から、目標としてい					バ、 語事情に	より工事か	産延し供用	אי כ כ	34.	
								幸成される見	込みである) ₀			
		1210011			_ 0								
		(今後の対応)・令和6年度	度の供用に向け工事	の進捗を図	る。供用	することに	より目標が	達成される見	込みである	,),			

					指標数	4	4	4	4	4		
(03	3 下水道施設の適正管理	里	達成状況	達成数	1	2	1	0	0	1	
					達成率	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			長寿命化計画の推	R2	目標値	50	50	50	50	50	か所	下水道
			進(マンホール蓋	72か所	実績値	39	33	38				課
			交換)		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	0711
			 長寿命化計画の推	R2	目標値	1	1	1	1	1	件	下水道
			進(施設改修)	1件	実績値	0	1	0				課
	0	301 計画に基づく施設の長			評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成			以上	
		寿命化や耐震化の推進	 耐震化計画の推進	R2	目標値	250	250	250	250	250	m	下水道
			(管路改修)	200m	実績値	422	423	451				課
					評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	
			 耐震化計画の推進	R2	目標値	1	1	1	1	1	件	下水道
			(施設改修)	1件	実績値	0	0	0			15.1.1	課
		0301 下水道施設の耐震化及	なが日本会ル古光け	国の六は全	評価	× 未達成		× 未達成 度は要望し	たさけ会が	似はさわたっ	以上	
	R 3		10 210 -1-10 5 -11	国の次加亚	にみりま	き他しており	7、 17411344	技は安全し	こ文刊並りま	別別された		·り、il
年	R	O3O1 下水道施設の耐震化系	ひで長寿命化事業は	国の交付金	により実	態している	ため、4年	度は要望し	た交付金が開	削減されたこ	ことか	ら、計
年度評価	4	画通り事業を実施でき	きなかったが、今後	は予算要望	!のヒアリ	ノング等で県	の担当者に	事業の必要	性を理解して	てもらうよう	うに努	めてい
価		0301 下水道施設の耐震化	及び長寿命化事業は	国の交付金	によりま	施している	ため、5年	度は要望し	た交付金が	削減されたる	ことか	ら、計
	R 5	画通り事業を実施でき		は交付要件	等の改]	を注視し、	予算要望の	ヒアリング	等で県の担当	当者に事業の	り必要	性を理
	胜してもりつように劣めていて。											
		0301 (達成状況)										
	Þ	((()		~ /I. \ \ \ \ \ \ \ \		0 to 1: 10 to	#. - **		-110 to	* \-1==1 -1\)> 10 -	- AUC
	間平	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	の耐震化及び長寿命 いったことから、目標				他しており、	安望しに多	と付金か削減	はされ計画と	おり	事業を
1	₩	(今後の対応)・今後は交付	要件等の改正を注	見し、予算	要望のヒ	アリング等	で県の担当	者に事業の必	必要性を理解	してもらう	よう	こ努
		め、予算の確	保を目指していく。									_

				指標数	1	1	1	1	1			
(D4 減災対策		達成状況	達成数	0	1	1	0	0			
				達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
	広域避難場所等におけ		R2	目標値	4	5	6	6	6	か所	下水道	
	0401 るマンホールトイレの	累計整備済箇所	2か所	実績値	3	5	6			ומט	課	
	整備		2/3/7/1	評価	× 未達成	〇 達成	○ 達成			以上	U.A.	
年	R 0401 マンホールトイレ設 を計画していたが1:			しており)、令和3年	度は要望し	た交付金が	削減されたる	ことから、2	2か所	の設置	
度評	度 R 0401 目標値については、伊東市総合地震対策計画に基づき設定したが、設置予定箇所であった広域避難場所の西小学校が廃校になったでは、 ことから、当該計画から除外したため、目標値を7か所から6か所に修正する。											
	R 0401 伊東市総合地震対策 5	計画に基づき広域避	難場所等に	おけるマ	アンホールト	イレを設置	した。					
	O4O1(達成状況) B											
	問 (実績評価) ・伊東市総合地震対策計画に基づき広域避難場所等におけるマンホールトイレを6か所整備した。 評											
(今後の対応) ・今後は下水道区域内における新たな整備箇所を検討する。												

_													
						指標数	1	1	1	1	1		
	05	5 下水道へσ)接続の促済	焦	達成状況	達成数	0	1	0	0	0		
						達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		公共下水道	及び地域汚		R1	目標値	120	120	120	120	120	件	エルギ
	0		の供用開始	啓発活動の継続	110件	実績値	64	123	68			1+	下水道
		区域での啓	発活動		11014	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成			以上	□木
J.	R3 度 R4	感情を考	慮)により、	感染症拡大に起因す 実施を見合わせる していたことにより	時期があっ	たことた	ら、未達成	たとなった。	の自粛、市	内の感染拡大	大状況、情勢	勢不安	で市民
	R 5			、接続者は無利子で 啓発は物価高騰など						を行ったが、	供用開始力	163£	∓以上
	O5O1 (達成状況)												
間 (実 績 評 価) ・年度によって件数にばらつきがあるが、毎年継続して啓発活動を実施できている。 評													
	(今後の対応) ・目標件数の啓発活動実施を目指し、業務内容の検討も行い、より効果のある方法を模索していきたい。												

												_			
						指標数	1	1	1	1	1				
(26	。 適正な浄化槽σ	D維持管	管理の推進	達成状況	達成数	0	1	0	0	0				
						達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		県の浄化槽パトロ 601 同行した適正な浄		県浄化槽パトロー ル訪問件数	R1	目標値	40	40	(45)	45 (-)	(50)		環境課		
	١	801 同行した過止な序 維持管理の戸別説		※隔年実施	32回	実績値	0	52	-						
年度	R 3 R	3 R 0601 新型コロナウイルス感染症の蔓延によりR3で実施しなかった当該パトロールをR4で実施した。R4の目標値はR3の数値と同様と													
度評	4														
価	R 5			感染症の蔓延により こため、今年度は実											
	þ	0601 (達成状況)) B+												
[E	間 (実績評価) ・パトロールを実施した年度は、目標値を達成した。 評 -														
ſi	(今後の対応) ・今後も県と連携して当該パトロールを実施することにより、浄化槽の維持管理を推進していきたい。														

担当課	水道課		J	施策3-40	の全指標達成	述率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 4	安全でおいしい水の安定供給	指標数	10	10	10	10	10
月指す姿	水道使用者が安全でおいしい水を安定的に使用す	達成数	6	6	7	0	0
日担9安	ることができる	達成率	60.0%	60.0%	70.0%	0.0%	0.0%

	SCE!	かぐさる		達成率	60.0%	60.0%	70.0%	0.0%	0.0%		
										-	
				指標数	1	1	1	1	1		
1	成果指標(KP	1)		達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	「安全で	おいしい水の安定供給」に	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成	港ワレブレ	いる市民の割合(市民満足	R2	目標値	88.4	88.8	89.2	89.6	90,0	%	
指	寒しには、寒しに、寒しに、寒しに、寒しに、寒しに、寒しに、寒しに、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に		88.0%	実績値	88.1	86.7	85.4				水道課
				評価						以上	
目標		水に対する市民の満足度は高									
$\int_{-\infty}^{\infty} \sigma_{z}$		ていくとともに、計画的な老校	5化施設の	更新や「	耐震化を推	進すること	とにより、	さらなる「	F 民満足度	の同 .	上が可
考え	13003700										
R 3 年度	(実績評価)	う・目標値には達しなかったもると考える。点)・水道施設の老朽化が課題と				, _ , _ , _ ,					
R 4	(実績評価	には届かず未達成となってし	まった。								
年度	(次年度修正	න් නි	.,,,,								に劣
R	(実績評価	・目標値には達しなかったも	のの、市民	満足度調	遺査の結果が	いら高水準の	満足度を維	持している	と考える。		
5 年 度	(次年度修正	点) ・安全でおいしい水の安定供 に努める。	新を進める	ことにより、	、更なる満	足度の	向上				
ф	(達成状況	B-									
問評	(実績評価	・85%以上のお客様から「満 が向上するように事業運営を			評価をいたが	ごいており、	満足度は高	高いものと考	ぎえるが、さ	らに	満足度
価	(今後の対)	・本市の水道水は湧水や井戸める。	水が9割を	占めてお	り、積極的	にPRすると	ともに施設	の更新を進	め、満足度	の向上	に努

		める	0													
					+15.4至水片						1 #	★ ሰ/1 / 5 HD				
		*****************	1°\	- 155	指標数	9	9	9	9	9	組	本的な取 ・主な内				
2	. 2	基本的な取組(2桁コー	・ト)・土仏内谷(4桁	コート)	達成数	6	6		0	0	容	の達成状				
					達成率指標数	66.7%	66.7%	77.8%	0.0%	0.0%	<i>1</i> /10					
	ე1	水質の適正管理の	が推進	達成状況		2	2	2	0	2						
	<i>O</i> 1	小貝の旭正日廷の	力性性	(建成状况)	達成率	100.0%	100.0%		0.0%	0.0%						
		 主な内容		基準値	上が十	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
				R2	日標値	100	100		100	100		1				
	0.	101 原水・浄水の定期	的な 水質基準適合率		実績値	100	100				%	水道課				
	_	*************************************	7721	100%	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成				7.231				
				R2	目標値	12	12		12	12						
	O,	102 検査結果の公表	毎月公表	毎月公表	実績値	12	12	12				水道課				
				サ月公衣	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上					
		0101 残留塩素は毎日	、水質は毎月検査を実施	をし、 水質基	準に適合	うした安全で	安心な水質	を維持した	0							
	R 3 0102 水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全な水道水であることを周知した。															
	3															
,		つっている。														
年度	R	UTUI 残留塩糸は母日	、小貝は母月快宜で夫別	也し、小貝を	*年に廻口	っした女主(女心な小具	さませいた	0							
度評	4	0102 水質検査結果を	毎日ホーハページでかえ	もし、安全な	rxk道水で	であることを	周知した。									
価		010亿 小英区互加水区		XU(X±/0			./9/10/Co									
		0101 残留塩素は毎日	、水質は毎月検査を実施	もし、水質基	準に適合	うした安全で	安心な水質	を維持した	0							
	R															
	5	0102 水質検査結果を	毎月ホームページで公表	長し、安全な	なが道水で	であることを	周知した。									
		0101 ()														
		0101 (達成状況)	A													
		(実績評価)・適切	な水質管理により、安全	た水道水の	世紀が行	わわている										
C	Þ		め小貝 日注にひり、 又主	るかになって	רו כיחוואו	1716 (170	0									
		(今後の対応)・水質	基準適合100%を維持	して行く。												
	間															
i	平	0102(達成状況)	Α													
4	TT	(実績評価)・水質	検査結果を毎月ホームへ	ページで公表	し、安全	性を周知で	きた。									
	ш															
		(今後の対応)・水質	検査結果を継続的に行う	00												

					指標数	1	1	1	1	1]				
	02	2 管路更新(耐震化)	事業の推進	達成状況	達成数	0	0	1	0	0					
					達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		。 . 効率的な管路の更新事		R2	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年				
	O2	201 紫の実施	更新距離数	1.Okm/年	実績値	0.7	1.3	3,3			NIII/ 1	水道課			
		未の大腿		1.Okiii/ 4	評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成			以上				
_	R 3	0201 水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発覚し、全国的に水道資材が一時出荷見合わせとなり、発注済工事の年度内完成が困難となった。													
左 馬記信	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	201 施工箇所において、既設埋設管(下水道・ガス・温泉)が混在しており、配水管埋設スペースが限られたことにより工事進捗に 遅れが生じ、年度内完成が困難となった。令和5年度は上記問題の影響が少ない施工箇所であるため、実績値は増となる見込み である。													
IU	R 5	O2O1 前年度までは、既設 は繰越工事が無く計									令和5	5年度			
		O2O1(達成状況) B+													
	中														
	間評	(実績評価) •過去3年(の実績値を平均する。	と目標延長	を上回っ	ているので	、効率的なな	管路の更新な	が図られてい	ハると評価で	できる	0			
	価	(今後の対応) ・引き続き	効率的な管路の更新	を推進する	とともに	、基幹管路	や重要管路の	の更新選定り	見直しを図り	oたい。					

		※宝• 重お	な時に迅速に	こ対応できる体		指標数	2	2	2	2	2					
(03	り、別ローデュ			達成状況	達成数	2	2	2	0	0					
	_					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%					
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		・・・ 緊急時にお	がける資材・		R2	目標値	237	237	237	237	237	品目				
	03	301 配管材の確		備蓄資材の品目数	237品目	実績値	237	237	237				水道課			
							〇 達成	〇 達成	○ 達成			以上				
				応援協力協定	R2	目標値	7	7	7	7	7	団体	-1ハ メ -田			
	O	302 応援協力係	を制の錐立	団体数	7団体	実績値		\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \				L	水道課			
		0004 W=b	カジかなにい	ちかに供うフため	コキケキ	評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	左動うフ		以上				
	R	0301 災害(%)	だ光的な個小	事故に備えるため、	51る続る14	音質例()	がは末に劣め)、	(日本) (日本)	を 全んる。						
	3	0302 大規模的	災害等に備え、	他の事業団体との	応援協力体	制の確保	保について 努	多めていく。								
			201 ※宝物空発的が浸水車均に焼ラスため、引き結き焼芸姿材の確保に致め、緊負対応できる休制を敷ラス													
年		0301 災害や3	301 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。													
浸評	R 4	0202 土地塔(公宝年に供う	他の事業団体との	応採扱もは	生山の地	コについてな	マムアハノ								
価		0302 人稅候》	火古守に哺ん、	他の事業団体との	心拔励力件	かりひりをは	たに ンいてき	SW CVIC.								
	R	0301 災害や3	突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き備	蓄資材の	D確保に努め	5、緊急対応	できる体制	を整える。						
	5	0.302 大規模(災害等に備え	他の事業団体との	応援協力体	制の確保	足について多	RMTINく.								
				100 FXENCO	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	10300000	((C) ()	303 (0. 10								
		0301(達成	状 況) A													
		(実績評価)	堂備備蓋咨	がな常に必要部数を	を確保出来	るよう	日頃より滴	切な管理を	行い. 日煙(直を維持達品	tできている	5.				
C	Þ				CIENUN	00151		93.00 - 12.00	13 0 14 13/1		<i>x c c c v</i> · <i>c</i>	٥٧				
F	間	(今後の対応)	引き続き適	切な管理を行なう。	とともに、	一部資機	材において	は最新資機	材への買換だ	え検討等を行	テいたい。					
		0202 (1 + 10 1 A													
ē	平	0302(達成	れ 流 / <u>A</u>													
1	T	(実績評価)	• 応援協力体	制について、良好に	こ維持する	ことがで	きている。									
		(今後の対応)	・他の事業団	体との応援協力体	制について	宇施訓	44を検討し	ていきたい								
			じりず未じ		יין אל בונינן			CVIGICVI	0							

						指標数	3		3	3	3	3	1			
(Э4	- 持続可能な	な経営基盤の	の強化	達成状況	達成数	2		2	2	0	0				
						達成率	66.79	%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%				
		主な内	容	管理指標	基準値		R3		R4	R5	R6	R7		担当課		
	_	.。. 経営の効率	区化•経費削	(8.1/./8	R1	目標値		05	105	105	105	105	%	1 V 4 - m		
	O	401 减	10 112/133	経常収支比率	105%	実績値		9.5	99.3					水道課		
	_				D4					× 未達成	07.45	07.50	以上			
		102 収納率の向	a ⊢	収納率	R1	目標値	97. 97.		97.35 97.73	97.40 98.03	97.45	97.50	%	マン共主田		
	02	+UZ 収納率()に	71	4人的一个	97.29%	実績値評価	O 達		<u>97.73</u> ○ 達成	96.03			以上	水道課		
					R1	目標値		O	0 建成		0	0				
	O ₄	403 料金体系 <i>0</i>	り見直し	料金値上げ		実績値		0	0	0			円	水道課		
	ľ			神弘にエリ	〇円		O 達/	_	<u></u>	〇 達成			-	小色体		
		0401 給水収益	益の減少により))、健全経営の水準	とされる1						型コロナウ	イルス感染	症の	拡大で		
				らくは厳しい状況か				_		_,,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,				
	R	0402 収納率に	は目標値を達成	成できているため、	引き続き水	〈道料金引	露務セン	ター	と密に連携	も	向上に努め	る。				
	3															
				感染症の影響により 忍識から今後の経営			は続くも	のの	料金値上に	ずの検討には	至らなかっ	た。しかし	ながら	う、厳		
年				感染症による行動制			されたこ	とに	より給水収	は増加し	たが、世界	情勢の影響	に伴	う動力		
•		費等の総	費等の経費が増加している。そのため、経常収支比率が減少しており、今後しばらくは厳しい状況が続くと思われるが、引き続き、経営改善に向けた取組を検討していく。													
度	R		き、経営改善に向けた取組を検討していく。													
評	1	0402 収納率に	で、経営改善に向けた取組を快割している。 102 収納率は目標値を達成できているため、引き続き水道料金事務センターと密に連携し収納率の向上に努める。													
ē₩		O4O2 全和4年	F度においてま	る、経営状況が厳し	いたがにも	ツタ はる	の目古り	Φ:		になかった	が、たい心	カー/古上げ	++*2	なわれ		
価				3、程名状がが厳し 間違いないため、令										いとする		
				重続で100%を下回										なか、		
				を含めて検討したい												
	R 5	0402 収納率に	は目標値を達成	戏できているため、	引き続きか	〈道料金哥	野をとと	ター	と密に連携	もし、さらな	る収納率の	向上に努め	る。			
	5	0403 全和56	F度において	5料金値上げは実施	したかった	-ti 3 t)/午度油:	結で	心际的心体	の納場生を	計トしてお	り 全和ら	午度I	기용(†		
				と真剣に検討しなけ							.BI C C C 00	.), Dango	十汉,	X1410		
		0401(達成	状 況) D													
		(実績評価)	• 給水IID益力	「減少傾向であり、	終党の健全	化の指揮	レ たス約	を使り	ID古比索が	100%を下	回っており	厳1778	当什么	コ ナ		
		(天順計圖)	なっている。		は白の庭土	しいりょり	(C/0,0/1)	±πν	(人文元十万	100/621			∸ 1/\ <i>n</i>	ال ك		
		(今後の対応)	• 料金改定((値上げ) について	審議会を	発足し検	討を進め	かる!	必要性があ	る。						
C	Þ	0402(達成	 状 況) <mark>A</mark>													
F	当	(実績評価)	●川∇幼☆八十二]標を達成している	ため ごき	結キル洋		タわ`	ンターと声	雄し、 さに	たる心気を	カ南 トに致い	カス			
	平	(夫 禎 評 ៕)	・収削争は日	原を達成している。	rw, ale	祝る小垣	/朴立 丁 //	カ に .	ノターC理	捞し、でり	るの状態学の	グロエに劣の	りる。			
		(今後の対応)	• 令和5年度	から、過年度分を	含む大口滞	納者から	の徴収を	を強化	化している	が、引き続	き大口滞納る	者の解消に	努めた	こい。		
1	#	0403(達成	大 状 況) A													
		(実績評価)	• 拟全小位 F	· :げは実施していな	ハキのの	現在の約	全体 47 +	が海+	tiinかどうか	給討さる (4)	更がある					
		(大順計圖)	- 44並り100	こうは大心している	1 60000	ガエの科	が一番で) <u>ਗਿ</u>	951J.C J.J.	1大可 9 の必:	女いのの。					
		(今後の対応)	近い将来、整していく。	値上げは必ず必要	となること	から、タ	イミング	ブをi	逃さないよ	う部内で準	備を進めるの	とともに、「	市長部	局と調		

			指標数	1	1	1	1	1						
	05 民営水道の統合の推進	達成状況	達成数	0	0	0	0	0						
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
	主な内容を理力	i標 基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課					
		R2	目標値	3	3	3	3	3	回/年					
	0501 木帆口事業者の帆口の 協議回	到数 1回/年	実績値	1	1	1			」 水道課					
	足足に同りた励弱	10/4	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上					
	R 0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。													
年	3 R 0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。													
度評	0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。													
価		の整備が整わず、具	体的な協	議に至らな	かったが、	今後も統合	に向け推進	していく。						
	5													
	O5O1 (達成状況) D													
														
F	間 (実 績 評 価) ・統合にあたっては、♬	営水道事業者の施	設台帳の	デジタル化	が必須であ	ることから、	整備の依頼	頭をしている	3.					
	『													
1	(今後の対応)・速やかな施設台帳整備	詩完了を依頼をして	いくとと	もに、現地	調査等を併	せて行ってし	ハきたい。							

担当課	都市計画課・建築住宅課・市民課			施策3-50	の全指標達成	戊率	
政策目標	3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	ち 魅力的な都市空間の創造	指標数	19	19	20	20	20
月指す姿	市域で地域特性を生かした安全で快適な市街地が	達成数	14	12	13	0	0
日担り女	形成され、景観に配慮されている	達成率	73.7%	63.2%	65.0%	0.0%	0.0%

				指標数	2	2	2	2	2	7				
1 1	或果指標(KPI)			達成数	1	0	0	0	0					
				達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	「海岸・高原	・住宅地及び市街地	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果 指標		どの良好な景観の形	R2	目標値	60.0	62.0	63,0	64.0	65.0	%	+0			
1818 1		している市民の割合	58.3%	実績値	58.9	54.2	59.5			70	都市計画課			
	(市民満足)	度調査)	56.5%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上				
目標		住宅地及び市街地の街並												
の]元年度実績 55.5%、令和	12年度実	績 58.3	3%を参照し	ノ、各年度	1%程度σ)上昇を見る	込み、659	%以」	Lとし			
考え	7.00									- N/ / I	10.11.50			
成果		うについて「全体とし	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課			
指標		っており、良い状態で なしたま見の割合 (オ	R2	目標値	34.0	36.0		40.0	42.0	%	都市計			
2	ある」と凹き 民満足度調査	答した市民の割合(市	32.6%	実績値	41.5	31.1	24.8			ļ	画課			
			半マナフ	評価		× 未達成		T = 00 (20/ 25	以上	rt: ct>//≢			
目標		調和が取れており、良い状 Bし、各年度2%程度上昇を					节和元年度	支美績 32.8	5%、节私	2年	受美領			
考え		RU、首件反乙/0性反上升で	兄及の、	42/01/	.I.C.O/C.									
57.		景観施策により積極的に取	い組み早知	にお使し	たまちづく	りた准める	ため 其木	5針の目声1	かまらから	マの伝	さままれた			
	(天積計圖 /	眺望点の選定等、伊東市景観						リがいがに	ノい宝川店		では、			
R	(次年度修正点)・重要景観景形成地区を定め、より良好な景観の形成に努めていく。													
3	3 2 2 実績 評価)・人々の生活や経済活動等により形成される事業と伊東の自然、歴史、文化と調和が取れるよう、主に土地利用事業等													
年度														
反														
		眺望点の選定等を定めた伊東	市景観形成	基本計画	及び伊東市	景観計画に	基づき、重要	要景観形成均	也区の指定に	こ向け	た取り			
R	()包在底板工具)	組みを行った。	► (0 ⇔ ±7	ナ 目 知 α	ガナーかん	テいく								
4	(次年度修止点) 	・重要景観形成地区を指定し	、より艮好	る意観の	が別に劣め	1010								
年度	2 (実績評価)	人々の生活や経済活動等に	より形成さ	れる事業	と伊東の自	然、歴史、	文化と調和に	がとれるよう	5、主に土t	也利用	事業等			
及		の適正化に関する指導要綱に												
	(次年度修正点)	状況に応じ指導要綱等の基	準の見直し	を行い、	調和が図れ	るよう適正	な指導を行	っていく。						
	(中线部)(本)	・景観施策により積極的に取	いぬれ見知		たまたベノ	いち坐める	ため 甘士	亡針の目志 1	かまとから	<u>マのに</u>	ナポナルト			
	1	・京観旭束により積極的に取眺望点の選定等を定めた伊東	り組み京観 市景観形成	に眺慮し 基本計画	ルにまりつく i及び伊東市	りを進める i景観計画に	にめ、昼本/ 基づき、東〉	つ軒の見旦(毎館(松川)	プログラス はいまた おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かい しょう	MUK を重要	開地で			
		成地区として指定すべく原案				X 10/10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 - C()(/	920 (12/11/	7-3/2-02-0		2010000			
R	(次年度修正点)	・東海館(松川)周辺地区を	重要景観形	成地区へ	の指定に際	。 と、パブリ	ックコメン	ト等で市民の	りご意見を明	恵取し	、最終			
5		案の参考とするとともに、伊	東市景観審	議会に認	うていく。									
年度	2 (宝績証価)	・人々の生活や経済活動等に	より形成さ	カス重業	と伊東の白		文化と調和:	がとれるよう	5 主に+t	地利田	重業等			
/2		の適正化に関する指導要綱に						3 C1 (0 0)	У ТСТ	כו וניוים				
	(次年度修正点)	・ 状況に応じ指導要綱等の基	準の見直し	を行い、	調和が図れ	るよう適正	な指導を行	っていく。						
	. () = -1 (5) = -1													
	1(達成状況)	D												
	 (実績評価)	KPIとしている市民満足度	は微増傾向	となって	いることか	ら、景観施行	策全体の方向	対性は一定の)評価を得て	いる	と考			
中	() (n) (l) (l) (l) (l)	え、伊東市景観形成基本計画						J,1.0. /LV	۷ ۱۰۱ ت سا ۱۰۰					
間	(今後の対応)	・重要景観形成地区について	は、東海館	(松川)	周辺地区に	加えて大室	山周辺地区の	の指定につい	ても検討に	こ入り	、本市			
目	0 /)= 1 15 5	の景観保全を進めていく。												
評	2(達成状況)	C												
価	 (実績評価)	・令和4年4月1日に伊東市	開発行為等	事務処理	要領及75年	東市十地利	用事業等の	商正化に関す	する指導要約	岡を改	定した			
ш	() (n) (l) (l) (l) (l)	他、違反の疑いのある事案の							, 3,10 ,1 3,11	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	(今後の対応)	・ 今後も引き続き土地利用事	業等の適正	化の推進	のため、適	正な指導等	を行ってい	<.						

2	1	ま本的な取組(ゲ	2桁コード)	主な内容(4桁)	1— K)	指標数 達成数		17 13		17 12		18 13	18 0	18 0	組	本的な取・主な内
_	_	E-TUS-GAZIM (2		T-013E (+111=	, 1,	達成率	l .	6.5%	70	0.6%	7	2.2%	0.0%	0.0%	. 谷 況	の達成状
						指標数		3		3		3	3	3		
(D1	中心市街地	もの活性化の	の推進	達成状況	達成数		2		3		3	0	0		
	· .	1 0 1 1-52		7,0,0		達成率	66	 6.7%	10	00.0%	10	00.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容		管理指標	基準値			R3		R4		R5	R6	R7	単位	担当課
				/D==0+c+0==/#	R2	目標値		5.0		10.0		20.0	30.0	70.0	0/	+/n- =1
	0-	101 伊東駅周辺	型地区の整備	伊東駅前広場整備 の進捗率	0%	実績値		5.0		10.0		20.0			%	都市計画課
				り進沙卒	0%	評価	0	達成	0	達成	0	達成			以上	四味
				加士司正学吸办勘	R2	目標値		60.0		60.0		60.0	60.0	60.1	%	±/n-±-=1
	0	102 市街地の道	節整備	都市計画道路の整 備率	59.7%	実績値		60.4		60.4		69.1			/0	都市計画課
				V III '∓'	59.1%	評価	0	達成	0	達成	0	達成			以上	四味
					直近5年	目標値		3		3		3	3	3		
	0-		で行うまちづ	活動件数	の平均									3	件	都市計
		くりの活動	b	心幼什奴	3件	実績値		1		3		3				画課
						評価	X:	未達成	0	達成	0	達成			以上	
		0101 交通空間	引と環境空間 <i>(</i>	の全体配置が決定し	た。											
		0100 54			· + + · + *	7 /++ 	-t-#									
	R 3	0102 宇佐美閣	ボ削連線の廃I	上により分母が減少	したにめ整	経備率か1	_7,)^ _	った。								
	0103 松川推進協議会の事務局として清掃作業等を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1件の活動となった。															
年	▼ O1O1 概略設計が完了し、導入する施設やその配置が概ね決定した。															
度	度 R 0101 概略設計が完了し、導入する施設やその配置が概ね決定した。															
₹							-									
5 11		O103 松川周辺	辺地区まちづく	くり推進協議会の事	務局として	清掃作業	等を	を行った	-0							
価																
		0101 事業地位	の用地測量及び	ゾ不動産鑑定評価を	実施すると	ともに、	伊東	即前应	場整	整備計画	(案	こうに こうし	ハて住民説	明会を実施し	ノた。	
				A.T.III A.T.			- (T/4 - +0-			
	R 5	0102 長期未養	責手路線につい	ハて、必要性・合理	性の再検証	と行った	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	早、 于佐	美丿	(幡中里	級、	片田大原	京級の一部	発止を行った	C.	
	၂၁	O4OO #\\UE\\	TWC±たべ	くり推進協議会の事	数日レーフ	:=+∃ //c 2	* ^ *	ことった								
			心地区よりし、	、り推進励議会の争	物向として	・/月が11・オ	₹₹′	±1J ンル	-0							
		0101(達成:	以 は は は は は は は は は は は は は													
		0101 ()	1/(// 0 / 0	ı												
		(実績評価)	令和5年度	まで概ね予定どおり)に進捗し	てきたが	、今	後は一	層の	周辺住民	えや:	地権者と	の調整が必	一個となって	いる	·
		(今後の対応)		の市道南口線との						会と協	議し	ていくと	こともに、計	一画に対する	住民	の意見
	Þ			へて検討委員会に諮問	った上で、	都市計画	決定	を目指	す。							
	_	0102(達成)	状 況) A													
F	当		+n	500 a ct 1 1 5 C = 1 1	- 1.10 ±5	/++ / L \-		1	7.11	·	_					
		(実績評価)	• 都中計画追 • 今终去夕晚	路の廃止や見直しに 路の交通量データE	こより、登	偏楽は産	及る	オしくい・	も状ませ	况でめる	ට. ≢₩:	/- 《坐《丰 I	て取り始ま	•		
Ē	平	(今後の対応)		路伊東大仁線の用地												
		(ラ後の対心)		地が果人に稼り用り	B 取(母)及(O)。	、ア宋駅	• 17	宋冷極	の文	迪夫 忠(<i>ひ</i> 指:	座で力が	るこに取り	油んでいく	0	
1	5	0103(達成:														
		0105 (建成)	1/\ //L /	J												
		(実績評価)	官民協働で	行うまちづくりとい	ハう目標に	対し、そ	の目	標に掲	げた	活動機能	会を	創出する	らことができ	きた。		
		7										,				
		(今後の対応)	引き続き官	民協働で行うまち?	づくりの活	動を推進	して	いく。								

		地域特性を	踏まえた	都市機能や生		指標数	0	0	1	1	1				
()2		約したま	ちづくりの推	達成状況	達成数	0	0	1	0	0				
		進				達成率			100.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		。。 都市機能誘導	ではるの			目標値	_	_	0	1	0	件	都市計		
	02	201 公共施設等の		施設数	_	実績値	_		0				画課		
					※ 1	評価	_		_		_	以上			
		200 居住誘導区均	域への居住	居住誘導区域外の		目標値	_	_	5	5	5	件	都市計		
	U2	202 誘導		住宅開発届出件数	- ※1	実績値	_		1			N.E	画課		
		0001 計画等党	カのため宝성	 責値なし。令和5年4		評価		上出が口(か)	〇 達成 SR5に変更	となったこ	とから DA	以下	西店ち		
	R		中のにの美 変更した。)		+月 口來	EA衣事	E。(宋廷吋	別のこれ	つついこを史	CAJICC	C11.01 U	+ ∪ノ⊟1	宗胆で		
	3			責値なし。令和5年4	1日1日第5	といまる つ	12. (策定時	ま聞がR4かり	SR5に変更	となったこ	とから、R4	1の日	連値を		
			変更した。)		1751070			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	311010000	C-01 37CC	2,5 5 11	. • ,	E C		
年		0201 伊東市立地適正化計画を令和5年3月31日策定公表した。(令和5年度からの評価となる)													
度	R														
評価	4	0202 伊東市立	地適正化計画	画を令和5年3月31	日策定公表	もした。 ((令和5年度)	からの評価。	となる)						
ІШ		0201 伊東東立	お海エルギ	画を令和5年3月31	口竿中小主	E1 # /	(令和5年度	からの海田	`						
	R	0201 19811111	CMTT.IP.	画を中心中の月の「	口來比厶衣	ز ۱۷ ده	、田和り牛皮	かりの連用)						
	5	0202 伊東市立	地適正化計画	画を令和5年3月31	日策定公表	した。(令和5年度	からの運用)						
		, <u>-</u> .							•						
		0201(達成状	: 況) —												
_	þ	(実績評価)	立地適正化	計画による都市機能	能の誘導は	比較的長	いスパンで	評価を行う	必要性がある	o.					
		(今後の対応)	今和6年度	に公共施設(新図	おおり が知	古地出	道区域に建	ひさわるる。	ヤであったか	ĭ 7争€0.冷‡÷	おか出る事の	一一一	ートス		
E				にム共加設(利凶を (リサイズ)を踏る								ノロ鳩	200		
=		0202(達成状	-1170												
ē	Ψ		,,,,												
ſī	FF			住誘導区域外の住宅	它開発届出	について	は、事業者	等が行うもの	のであること	から、正確	産な捕捉が困	難で	あると		
IL	Ш		sれている。		11 11		1,4,2,10;			P 51		= \	marine I I		
)果の捕捉方法につい		の事例な	どを注視して	ていく他、月	舌住誘導区域	外での土地	的利用や開発	於行為	等に対		
\•/				びまった。 まきた											

※1 令和5年度からの新規事業であるため、基準値を一とした。

		11年度から対抗事業((3) (3) (2) (2)		。 指標数	2	2	2	2	2	1				
(ЭE	3 憩いの場の整備		達成状況		0	0	1	0	0					
					達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
			公園の改修等を求め	R2	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	%	都市計			
	O;	301 公園・緑地の整備	る市民の割合(市民	18.7%	実績値	21.1	18.8	18.2				期課			
			満足度調査)	, .	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以下				
		202 開発行為による緑地の		直近5年 の平均	目標値	1	1	1	1	1	笛所	都市計			
	O;	302 開発打局による縁地の 確保	緑地の個所数		実績値	0	0	2				画課			
		OE IV		1 箇所		Ŭ	× 未達成				以上				
		0301 引き続き遊具の設置	」 等の整備を実施する	0	101 100	7134	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	S ~£,74			->				
	R		3 - 1113 - 1110 - 0	•											
	3	O302 完成した開発行為が	無かったため実績な	し。											
年		O3O1 令和4年度は本郷公園に雲梯及びブランコを設置した。23都市公園のうち、遊具のある13公園の遊具を順次整備しており、令和													
-		O3O1 令和4年度は本郷公園に雲梯及びブランコを設置した。23都市公園のうち、遊具のある13公園の遊具を順次整備しており、令和 4年度までに7公園の整備を行っている。引き続き遊具の設置等の整備を実施するとともに、計画や実績について情報発信を行っ													
度	lμ	030 4年度までに7公園の整備を行っている。引き続き遊具の設置等の整備を実施するとともに、計画や実績について情報発信を行っていく。													
評	4	0302 令和4年度に開発行為	島の申請された行為I	こついて、	緑地の確	保等の指導	を行ったが、	年度内に完	記成した行為	が無かった	ため	実績な			
_		しとなった。引き続き	き必要な緑地確保に	ついて指導	を行って	ていく。									
価		0301 令和5年度は杉本公園	園のブランコとザイ	レクライミ	ングを更	新設置した	。また鎌田2	公園のブラン	ノコの塗装補	修を実施し	た。				
	R 5		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~												
	၁	0302 年度内に完成した開発	発行為寺かと条件め	つに。											
		0301 (達成状況)													
			_												
_	ь		る改修等要望につい							なっている	が、	本市の			
_	۲		対修要望順位として!												
F	9		までに老朽化した遊ぶ園整備も視野に調査				みであるが、	公園に関す	る市民要望	に耳を傾け	、遊見	にと			
=	平	O3O2(達成状況) B+													
U	1		ハブは 口間がたし	7 88 36 17 14	の左曲士	5 7 5 4 * * 5	ニ トフボ -	5= ± 4 % + 5 + 4	+ 0 = 0 :	71443114	Trb IC 1	====			
ſi	5	(実績評価) ・実績について指導を行っ	Nては、民間等による っている。	5 開発行為	の年度内	元戍条件数	によるか、	申請かめつた	こものにりい	1 (は絿地0)	が低ほり	۱۵۱ر			
			最地確保について指導	尊していく	0										

						指標数		2		2		2	2	2	1	
(Э4	土地利用(D健全化		達成状況	達成数		2		1		1	0	0		
						達成率	10	00.0%	5	0.0%	5	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内	容	管理指標	基準値			R3		R4		R5	R6	R7	単位	担当課
			が 利用事業等	ch == 14	直近5年 の平均	目標値		8		8		8	8	8	件	都市計
	04	401 の適正化に 要綱に基こ		申請件数	8件	実績値評価	0	8 達成	X	4 未達成	X	4 未達成			以上	画課
		400 宅地造成等	景規制法に基) To	直近5年 の平均	目標値		0		0		0	0	0	件	都市計
	O ₄	402 宅地造成等 づく指導	37901137221	違反件数	O件	実績値		0		0		0]	画課
					-	評価	0	達成	0	達成	0	達成				
	R			等について指導を行		Warre L. Jan										
	3	0402 宅地造原	-02 宅地造成等規制法に基づき指導を行っており違反が無かった。 													
年度			1 土地利用事業の申請件数が4件であったため目標値には届かなかった。今後、防災や生活環境保全等、土地利用等の適正化に関する指導要綱に基づく指導については、民間の土地利用事業等の申請全件に対して行っていく。													
評価	4	0402 宅地造原	成等規制法に 基	基づき指導を行って	おり違反か	が無かった	=_0									
	R			‡数が4件であっただ 言導については、民									R全等、土地	也利用等の適	正化	こ関す
	5			きづき指導を行って				1 013	107	30 (13		20. 0				
		0401(達成	状 況) C													
		(実績評価)	。此物什曰垣	値に及ばない年度を	ヒあろが	夕山謹に	☆	. 流刊	ただ	道を行っ		ハス				
	Þ	(天旗評価)		に区区区はない千皮	000000	日午時に	∨ 』 C	人。但如	⟨ Q ,1E	1 3 G []	<i></i>	V 100				
E	当	(今後の対応)		や生活環境保全等、 対して行っていく。		等の適正	化に	関する	指導	要綱に	基づ	く指導に	こついては、	民間の土地	利用	事業等
=	平	0402(達成	状 況) A													
ſā	I	(実績評価)	• 宅地造成等	規制法上の違反案例	#はなかっ	た。										
		(今後の対応)	・今後も、違いく。	反及び違反が疑われ	1る事案の	発生防止	のた	きめ、通	報等	に基づく	1°</td <td>トローバ</td> <td>を随時行う</td> <td>などの取組</td> <td>を継続</td> <td>続して</td>	トローバ	を随時行う	などの取組	を継続	続して

)E	早知に刑法	ョ! た土たっ	づくりの批准	法出出	指標数		3		3		3	3	3		
)5	京観にधょ	思しにより.	づくりの推進	達成状況	達成数達成率	10	3 00.0%	11	<u>3</u> 00.0%	6	<u>2</u> 6.7%	0.0%	0.0%		
Г		 主な内?	突	 管理指標	基準値	连队华	10	R3	- 1	70.0 % R4		R5	0.0% R6	R7	畄位	担当課
-		土なり	6	6年1月1年	直近5年										丰四	10日本
	O.F		現条例に基づ	違反件数	の平均	目標値		0		0		0	0	0	件	都市計
	-	~ く指導		2011	〇件	実績値		<u>\</u>		<u>*</u>		0				画課
					またこと	評価	0	達成	0	達成	0	達成				
	OF	502 静岡県屋外	小広告物条例	指導件数	直近5年 の平均	目標値		40		40		40	40	40	件	都市計
		ひと に基づく指	導	18- 3 11-30	40件	実績値		40		40		40				画課
						評価	0	達成	0	達成	0	達成			以上	
	0.5	-00 <u></u>	*\+++	++ O+ ^ L- /L- Wh	直近5年 の平均	目標値		15		15		15	15	15	件	都市計
	05	603 廃屋解体 σ)撤去文援	補助金交付件数	4 4 ll±	実績値		15		15		9				画課
					11件	評価	0	達成	0	達成	×	未達成			以上	
		0501 建築物等	等に対し周辺環	環境との調和を図る	よう色彩に	ついて指	≨導る	を行った	-0							•
	R 3	0502 違反広告	告物の広告主等	等に対し口頭指導を	行った。											
	_	0503 17件の	申請があり、	15件に補助金を交	付した。											
-		0501 建筑物等	501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。													
年		0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。														
度	R 4	0502 違反広告	502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。													
価	- 1	0503 18件の	り申請があり、	15件に補助金を	交付した。	残りの3	3件1	こついて	は、	取り下	げヤ	b廃屋認	定されなか	ったことなる	どによ	り、交
		付しなた	かった。													
		0501 建築物等	等に対し周辺環	環境と調和を図るよ	う色彩につ	いて指導	争を行	行った。								
		0502 違反広告	ち物の広告主等	等に対し口頭指導を	行った。											
	5	∩ <u>502 中</u> ≢の‡	ふったの供に立	対し、全て補助金を	六付」た											
		0003 中間 <i>00</i>	クラに9件にX	りし、主し補助並を	יאוש טוב.											
		0501(達成:	状 況) A													
		(実績評価)	• 伊東市景観	条例に係る違反事物	家はなく、	施策が景	観保	全に寄	与し	ている	ちの	と考えて	こいる。			
		(今後の対応)	会络士继续	して建築物等に対し	.国:川平培	上調和左	. [V] Z	ストスタ	亚シー	ついて	与道	を行って	71.16			
4				ひて産業物寺に対し	力问起採埚		<i>6</i> ⊠.	J& J 🗅	かに	- DV 1 C3	- ∃) C (15)	2010			
4		0502(達成)	状 況) A													
間		(実績評価)	• 違反広告物	の広告主等への指導	算は継続し	ているも	の の)、違反	件数	対の減少に	こつ	ながらた	い実情もあ	ある 。		
<u> </u>	<u> </u>	(今後の対応)	• 屋外広告物	対策に係る業務実施	布(休告) ()	当性など) カ	「検討し	. #	おか細かる	/ 蘇	きなな家	音を行ってい	(きたい)		
佂	Б			が来に所る来物夫は		央垣なし	ے ر.	ביואסי ט	, .	いしている。	<u> </u>	.ш.о.ли	V C (113 8	16/2016		
ш	U	0503(達成)	状 況) <mark>C</mark>													
		(実績評価)		は目標値に対し未選	感ではあっ	ったが、	申請	数の減り	かに	鑑みると	_当	該施策で	対応すべき	廃屋が減少	してに	いるも
		(今後の対応)	のと捉えてい・暑観保全の	る。 みならず、防火・I	方犯などの	安小,• 安	·全 <i>π</i>	御占か	ら ‡	・廃屋の	配休	物夫のさ	5揺を続けて	1,1<		
			ポモルエリ		ره کارتان	×'U' ×	.±∪.	ノモルボノン	ے ر	フルロエマノド	J+ I/+\	JHX ZZ O Z				

06 市営住宅の快適で良好な住空間の 達成状況 達成数 2 1 0 0 0													
(06) 相当任七0 維持•確得		ける仕上间の	達成状況	達成数	2	1	0	0			
		が出りる。10年に	木			達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内	容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			かに暮らせる	中層耐火構造住宅		目標値	4	7	14	26	39	戸	建築住
	00	501 よう市営住		における住戸改良	_	実績値	4	7	11				宅課
		- 効率的かつ	円滑な更新	の実施累計戸数	% 2	評価	0	〇 達成	× 未達成			以上	
		。。 耐用年限な	が経過した老	用途廃止の後に解	R2	目標値	3	3	3	3	3	戸	建築住
	U	502	解体・撤去	体・撤去した老朽 住戸の戸数	5戸	実績値	3	2	2			IVI L	宅課
住户のP数 ※3 評 価 〇 達成 × 未達成													
	O601 長寿命化計画に則り予定どおり施工を行った。 R												
	3	0602 用途廃口	トがされている	る戸建住宅の解体を	行った。								
		75275	1.5 641 611	J, ZEE 0.033111 C	15 2700								
年	年 0601 長寿命化計画に則り施工を行った結果、達成に至った。												
度評	R												
評価	4			が無く戸建て解体に 含を精査していく。	留まったた	め、達成	はには至らな	かった。今	後、各市営	主宅の状況を	を分析し、角	解体や	撤去を
	1	0601 工事費の	の上昇により、	計画戸数を達成で	きなかった	-0							
	R 5	0602 5建て	辺はに効キっ#	こため、達成には至	になかった		夕古兴广之	つけにた	また! 6辺/大3	カ物土 左原と	上的に行うる	与兴众	ウム蛙
	J	からして からしてい		こんめ、连戍には土	.Dan. 11	.。フ版 、	台中名住七	᠁᠕᠕᠕	171 〇、 胜中	で放立で愛え	ול נואומם	ガ즈니	七で相
		0601 (達成	状況) C										
С	þ	(実績評価)	• 建設工事費	の上昇により実施語	計画を達成	できなか	った。						
E	9	(今後の対応)	・各市営住宅	の状況を分析し、常	需要の多い	市営住宅	を優先的に	改良を行って	ていく。				
18	「一方後の対応) ・各中名住宅の状況を方付し、需要の多い中名住宅を優先的に成長を行うていて。												
=	評 │○602 (達成状況) <mark>C</mark>												
ſċ	5	(実績評価)	・戸建て住宅	の解体しかできなれ	かったため、	、計画を	達成できな	かった。					
		(今後の対応)	• 各市営住宅	の状況を分析し、魚	解体や撤去	を優先的	に行う市営	住宅を精査し	していく。				
		このケーカンウェースを表示すり、甘油はは、レーナが、内ェーナードウラ・ディー・リスロ様は土田ピアリス・レッシュ・カビ											

- ※2 令和3年度から実施する事業であり、基準値は一としたが、伊東市市営住宅長寿命化計画において目標値を掲げていることから、これに合わせた。
 ※3 基準値は会和2年度の5戸であるが、退去が生じなければ実施できない場合があるため、冬年度3戸以上の日標値としている。

×	(3	基準値は令和2年度の5戸	であるが、退去が生	じなければ	実施でき	ない場合がる	あるため、含	5年度3戸以	(上の目標値	としている	0	
					指標数	1	1	1	1	1		
	07	7 空家等及び跡地の利	活用	達成状況	達成数	1	1	1	0	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市空家等対策に向け		R2	目標値	5	5	5	5	5	人	7 = 1 / 1 -
	O.	701 た利活用促進に関する協定による市内の空家等の		2人	実績値	11	14	19				建築住名課
		市場への流通促進			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	
在	R 3	取引業協会に流通促進を目的とした紹介を促した。										
年度評	R 4		。同けた利沽用促進に 促進を目的とした照						こ対し、公司	<u> </u>	静岡県	: 七地建
価	R 5		で向けた利活用促進に 経進を目的とした照									
		0701 (達成状況) 🛕										
	中間	(実績評価) • 平成29	年12月に公益社団	法人静岡県	宅地建物	取引業協会	と締結したん	尹東市空家等	対策に向け	た利活用促	進に	関する
i	平		、利活用相談者の受								_,	
1	₩		今後の対応) ・ 令和4年2月に静岡県司法書士会と締結した伊東市における空家等の対策の推進に関する協定に基づき司法書士との連携を強化し、相続されていない空家所有者に対し、利活用には相続登記が不可欠であることの周知を促していく。									

						指標数	3		3		3	3	3		
	2(空家等の過	園正な管理	等の推進	達成状況	達成数	2	10.7	2	<u> </u>	3	0	0		
		<u> </u>		her TO Us 1		達成率	66.7		66.7%	11	00.0%	0.0%	0.0%	N/ / I	10.11.
		主な内	容	管理指標	基準値		R3		R4		R5	R6	R7	単位	担当課
			譲地自治会		R2	目標値		2	2		2	2	2		建築住
	08	301 と連携した	こ空家等の情	合同調査回数	1 🗆	実績値		3	5	5	8				宅課
		報収集				評価			〇 達成	0	達成			以上	20/11
		所右老笙 に	対する啓発	通知後の所有者か	R2	目標値		5.0	15.C		15.0	15.0	15.0	%	建築住
	08	302 及び情報扱		らの相談率	13%	実績値	3	0.0	28.0)	51.9				宅課
		ALAITEII OX	LIV	3 9 7 18 18 7	1070	評価	〇達	成	〇 達成	0	達成			以上	DUN
		お作品で	別家相談の			目標値		1	1		1	1	1		建築住
	08	303 検討	引物性談の	相談会開催回数	_	実績値		Ο	C		1				宅課
		נסאו			% 4	評価	× 未述	起成	× 未達成	0	達成			以上	
	0801 町内会や分譲地自治会と連携した空家等の情報収集について、目標値を上回る合同調査を実施した。														
	R	0802 調査回数を増やしたこともあり、空家等所有者から通知後の解決に向けた相談は大幅に目標値を上回った。													
	3														
				は、負担金の予算が	なかったた	め開催す	けること	がで	きなかった	-	今後も引	き続き負担会	金の予算を要	要求し	相談会
_			を目指す。												
年		0801 町内会や	や分譲地自治療	会との連携を増やし	、空家等0)情報収算	[につい	て、	目標値を上		3合同調	査を実施した	こ 。		
度															
	н	0802 調査回数	数を増やしたる	ことで、空家等所有	者から通知]後の解決	に向け	た相	談で目標値	を」	上回るこ	とができた。			
評	4														
				は、負担金の予算が	なかったた	め開催す	すること	がで	きなかった	こか、	令和5	年度は予算語	計上ができれ	こため	、相談
価		会を実施		^	1861		-+0.15.4			F /		- 1 60	_		
		0801 町内会	の分譲地目治療	会との連携を大幅に	増やし、翌	と家等の情	新拟 集	につ	いて、目標	に関する	を回しま	ことかできん	こ。		
		0000 ======	*		1 + - 1-7	5 \3/FD/4	x =====	**	C 0+0=114	7 - 18 -	-+= <i>1</i> - 1	ロマーレが	z++		
	R 5	0802 所有有	手に刈りる迪力	印文書を複数回送付	UELL	、迪利特	対別相	白か	りの他談当	シンン	八幅に上	回のここい	じるに。		
	J	○○○○	ニトス無料の	空家相談会を開催で	キたことに	- F10 =	右老が	均ラ	ス烊力が即	9旦百。	・神師に	ついて 恵	明宏の助言に	- F10	名記され 1 .
			び増加した。	上外代製工と用作し	a/cccic	-0.0 K	IHHU	记人	る学さる。	小店	・休恩に	J(1) (, ⊕	」多りの古に	こみり	所入し
		0801 (達成													
			水 												
		(実績評価)	町内会めを)譲地自治会との連持	生を拡大し,	会同で	の調査	コ光ケナ	が増加した	- 1	により	空家等の信	銀収集が向	ı ⊢ਰ:	スナナ
		大顺叶Ш/		 及び自治会との信頼				3 5 X /.				工分子の店		J 9	
		(今後の対応)		続ける中で、空家院			-	也 也 也 也	台会が増加	L.	合同での	の調査回数力	が 増えてきて	いる	が. 今
				望に答え調査を継続						0,				. 0 1 0/	
4	ם	0802(達成			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
		0002 (2 /2	7 / 00 / A	ı											
R	1	(実績評価)	所有者等に	対する通知文書を終	复数回送付	したこと	で、所	与者/	からの相談	変力	向トした	空家に対す	る対応が促	進した	F
_															
- 5	- - - - - - - - - -														
,-	_	() (2 - 2 / 3 / 6 / 7		ていることから、								3 2 3 3 7 10	30,7 1 79 1 3 2		
ſđ	1	0803(達成	状況) B												
		(実績評価)	無料の専門	家による空家相談会	会の開催が	でき、所	有者の	不安を	を解消する	こと	ができた	Ē.			
		(2 1 197 0 1 14B /													
		(今後の対応)	専門家によ	る無料の空家相談会	会を開催で	きたこと	で、各	分野の	の専門家の	意見	を参考に	こ所有者の不	安が解消し	た効果	果がで
		,	ているので、	今後も継続して予算	草を確保し	、専門家	による	無料3	空家相談会	の開	催を図る	3.			

ているので、今後も継続して予算を確保し、専門家による無料空家相談会の開催を図る。 ※4 令和3年度以降に県と連携し、伊東市での開催を見込んでいるものであり、これまで実施していないことから、基準値を一とした。

				指標数	1	1	1	1	1				
	19 伊東市営天城霊園の第	整備推進	達成状況	達成数	1	1	1	0	0				
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
			R2	目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	%			
	0901 合葬施設等の整備	整備の進捗割合	0%	実績値	20.0	50.0	60.0			/0	市民課		
										以上			
		まえた第3期計画の	基本設計を	基に実施	設計を作成	した。							
年	3 0004 第 0 即是兩の中性是兩方其に、合并子替地方決別した												
度評													
評	4	101/1-				1 	- 12 11 1 - 121	/		- · ·	4		
価		開始するとともに、	園内整備に	ういて指	定管埋者と	協議し、経	年劣化に伴	つ芝生墓所の	の芝張替え	手の次	年 度 実		
	5 施に向けて準備した。												
	0901 (達成状況) B												
4		にせべさへ共士芸具	h / 7- 3	△ 10.55	- 時から出口	ナかみフー	レガラキャ						
의 당		に基づき合葬式墓地	望を建設し、	日本の日本	F度から供用	きを始めるこ	.とかできた	0					
	in the second se												
ILL	(今後の対応) ・第3期計画 	にのいて、フ仮の目	⇒未ii 凹 C0	このとに当け	あり、理路の!	P坦IUXUC	D季川以按	は平场の改画	国で政府別に	_進(火)	CUI		
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \												

担当課		都市計画課			施策3-60	の全指標達成	戊 率	
政策目標	政策目標 3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち		年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	6	公共交通体系の充実	指標数	15	15	15	15	15
月指す姿	ž	市民、観光客等にとって持続可能な地域公共交通	達成数	8	7	8	0	0
日担分女	5	が確保・維持されている	達成率	53.3%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%

						_		_	_	1		
	B# (1.5.1.)			指標数	2	2	2	2	2			
1 /	成果指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0	-		
			甘淮店	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24/-	+D \V=B	
成果	■「バス・鉄道な	などの公共交通対策	基準値	口抽店	R3	R4	R5	R6			担当課	
指標	の充実」に満足	Eしている市民の割	R2	目標値	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0	%	都市計	
1	合(市民満足原		35.3%	実績値	34.4		30.1				画課	
	_ , , , ,					× 未達成		70/ 0.7	0 = = 1.1	以上	1 +0.1-	
目標		度については、市民満足										
し サニー		電車の減便があるなか3%	5.3%と上	昇傾回(でめる。満	泛度調查和	まと母に	10%の上	昇を見込め	45%	620	
考え	方 た。											
成果	3 011124 55 44 1111		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
指標	。	ス、デマンド交通、	R1	目標値	8,651	8,651	8,651	8,651	8,651	丰 人	都市計	
2	▶️タクシーの年間	引利用者数	8,651千人	実績値	4,658	5,900	6,508				画課	
_						× 未達成				以上		
目標	ⅰ 鉄道、路線バス、	デマンド交通、タクシ	ーの年間和	引用者数	は、人口に	は減少傾向	にあり年間	引利用者数 (の減少が懸	念念	れる	
の		進等の取組による年間利	用者数の網	維持を見	込み、現場	犬維持とし	た。					
考え	え方 1 (実 績 評 価)・伊東市地域公共交通計画で市内路線バスの維持、見直しの検討や地域公共交通の確保、充実、利用促進に向けた取組											
	1 (実績評価)・	伊東市地域公共交通計画で	市内路線バ	スの維持	、見直しの	検討や地域	公共交通の	確保、充実、	利用促進に	向け	た取組	
	を-	行った。										
R	(次年度修正点) •:	地域公共交通の確保、維持	、充実に向	け利用実	態を把握し	、利用促進	に向けた取締	組等を行う。				
3												
年	2 (実績評価) •:	利用促進に向けた取組とし	て、交通系	ICカード	導入補助、	タクシー車	両の購入補助	助等を行った	= .			
度	_											
	(次年度修正点) • :	継続した運行の確保、維持	したうえで	、利便性	の向上を図	っていく。						
	1 (実績評価) •	伊東市地域公共交通計画で	市内路線バ	スの維持	、見直しの	検討や地域	公共交通の	確保、充実、	利用促進に	向け	た取組	
	を-	行った。										
R	(次年度修正点) • :	地域公共交通の確保、維持	、充実に向	け利用実	態を把握し	、公共交通	体系の見直	しや利用促進	生に向けた耳	双組等	を事業	
4	者	と共に進める。										
年	2 (実績評価) •:	利用促進に向けた取り組み	として、現	状の把握	、運行本数	やルートの	見直し等を	事業者と行っ	った。			
度												
	(次年度修正点) •	継続した運行の確保、維持	に努めると	ともに、	公共交通体	系の見直し	等を行い利仰	更性向上を図	図っていく。			
	1 (実績評価)・	交通空白地の分譲地等の自	主的な交通	確保のた	めのマニュ	アル整備を	行った。					
R	(次年度修正点) • :	本市の交通実態やニーズを	アンケート	や事業者	からの利用	データで分	析し、必要を	な公共交通な	ナービスレク	ベルを	検討	
5		、伊東市地域公共交通計画										
年		利用促進に向けた取組とし	て、現状の	把握、運	行本数やル	ートの見直	し等を事業	者と継続して	て行ったほか	小、市	内の公	
度	共	交通マップを配布した。										
		公共交通の一層の利用促進						通マップの作	作成を行う^	~ <.	調査研	
		を行うほか、デマンド交通	の沿線に利	用促進の	効果的なP	Rを行って	いく。					
	1(達成状況)	D										
ф		コロナ禍が明け、市民の移					における公共	共交通サーと	ごスの規模網	部 かが	公共交	
週間 週間 週間 週間 週間 月間 月間 月間												
間		令和6年度に改定する伊東					公共交通サ	ービスを維持	寺・改善する	ること	ととも	
I		、民間の交通施策の支援を	含めた多面	的な交通	施策を検討	していく。						
評	2(達成状況)	D										
UT												
価		公共交通の利用者が年々増					ものと見込む	まれることな)ら、路線/	バスの	運行に	
ш		る補助は同様な規模で継続										
	(今後の対応) •〕	事業者と連携した利用促進	とニーズの	把握·分	析に継続し	て取り組ん	でいく。					

					指標数	13	13	13	13	13		本的な取	
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	リード)	達成数	8	7	8	0	0		・主な内 D達成状	
					達成率	61.5%	53.8%	61.5%	0.0%	0.0%	況		
					指標数	2	2	2	2	2			
	01	交通結節点の利用環境	竟の向上	達成状況	達成数	2	2	2	0	0			
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		(人) 乗り場案内や乗継案内		R2	目標値	1	1	1	1	1	笛所	都市計	
	0	101 条り場条内で条幅条内	表示改善数	1 箇所	実績値	1	1	1				調課	
		0.0.320.320		1	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上		
		102 鉄道と路線バス、路線	鉄道・バス事業者	直近5年 の平均	目標値	3	3	3	3	3		都市計	
	١	102 バス同士の接続の向上	との協議回数	30	実績値	3	3	3				画課	
					評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上		
日本 日													
C			での情報表示は市民 該箇所での情報表示			高原地区を	訪れる来遊祭	客の利便性の	の向上につな	ながっている	3もので	である	
F	間	(今後の対応) ・固定型のデ	ジタルサイネージ	こ加えて、	紙の公共					など、利用	者の和	可便向	
	_		を強化する取組等、	境地(グ)乗	り場条内	表示寺によ	らない情報!	定供も快訂し	ノしいく。				
ē	O102(達成状況)												
1	# ■	(実績評価) ・本市にはバス事業者、鉄道事業者の本社が所在することから、円滑な連携が図られていると考えられる。											
		(今後の対応) ・交通相互の	接続だけでなく、	教育、医療	など多様	なサービス	との接続性に	こついても諺	議論していき	きたい。			

					指標数	2	2	2	2	2		
	0	2 公共交通体系の再構築	築	達成状況	達成数	2	2	2	0	0		
					達成率	100.0%	100.0%		0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		0201 市内路線バスの維持・	バス事業者との協	直近5年 の平均	日悰但	3		_	3	3		都市計
		見直し	議回数	30	実績値評価	○ 達成	3 ○ 達成	3 達成			以上	画課
		0202 広域路線バスの維持・	バス事業者との協	直近5年 の平均	目標値	3	3	3	3	3		都市計
		²⁰² 見直し	議回数	30	実績値評価	○ 達成	3 全成	3 達成			以上	画課
		0201 路線バス事業者と乗隊	L ^{条調査の実施や収支}	上課題のあ				0	行った。		~~ <u>-</u>	
	F											
	3	0202 路線バス事業者と乗	&調査の実施や収支	上課題のあ	5る路線σ)運行の維持	・改善につ	いて協議を	行った。			
				1 ==== +== +=	7 DB//A	NE/- 0/#+	+ 75*/	ハマカギナ	/			
丘	F ₹ F	0201 路線バス事業者と乗隊	命調査の実施や収文	上課題のめ) 6路線().)連付の維持	守・改善につ	いて協議を	仃つに。			
記	z 1 [4] 4	- - 0202 路線バス事業者と乗り	を調査の実施や収支	上課題のを	5る路線 <i>σ</i>	運行の維持	寺・改善につ	いて協議を	<u></u> 行った。			
佰	Б											
		0201 路線バス事業者と乗り	峰調査の実施や収支	上課題のあ	5る路線σ)運行の維持	寺・改善につ	いて協議を	行った。			
	F 5		タ細本の歯抜り四十	LEBBOT	フロタ4白ィ	いまに の ##+	キ ルギにへ	ハアわぎた	年 - 七			
	٦	0202 路線バス事業者と乗降	年詞首の夫他や収文	上誄起のめ) 合始級().)連行の雑か	す・以苦にノ	いて励譲せ	付つに。			
		0201(達成状況)										
	ф)乗車実績のほか、/ 3線の維持をしてき/		の収支実	績などを勘	深し、生活	路線バスの選	重行維持のた	きめ、継続し	ノて補品	助を行
	間	(今後の対応) ・政府が進め	る地域公共交通の	ノ・デザイ	ンの取組	や各種補助	メニューな	どの活用によ	より公共交通	6体系の再構	築に	つい
	1-0		交通計画の改定と	井せく検討	U CINS	0						
	評	Q202 (達成状況) A										
	価)乗車実績のほか、/ 3線の維持をしてき/		の収支実	績などを勘	楽し、生活	路線バスの選	重行維持のた	め、継続し	て補品	助を行
)る地域公共交通の! は交通計画の改定と(メニューな	どの活用によ	より公共交通	体系の再構	築に	つい

(ЭЭ	3 地域公共交通の確		達成状況		3	3	3	3	3			
		<u> </u>	7/5 T D 1/5 1 T T	++ >44 /-	達成率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	W (-L-	10 V/-0	
		主な内容	管理指標	基準値	口+悪/法	R3	R4	R5	R6	R7	—	担当課	
		301 交通空白地域の解消	当に 取組支援件数	R2	目標値実績値	2	3	4	5	6	件	都市計	
	0	501 向けた取組	以祖义按什数	2件	評価		× 未達成	•			以上	画課	
		 別荘地等が主体とな	510	R2	目標値	2	3	4	5	6			
	03	302 運行する生活交通/			実績値	1	1	2			件	都市計	
		補助		2件	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	画課	
		リロタクシー声声の	78#	R2	目標値	3	3	3	3	3	台	都市計	
	03	303 UDタクシー車両 <i>0</i> 入補助	補助件数	1台	実績値	1	1	1				画課	
						× 未達成				- b. l. t/- - l.	以上		
		0301 伊豆高原地域交流 行った。	通利便性回上検討会に参	別、伊東マ	アンション	/地区の今後	の移動手段	に関するア	ンケートの1	作成や集計	等の支	援を	
	R		番利価性向上検討会に参	計り 発た力	でなるのは	野宝輪に向	けた支援を	行ったが	その他の別ば	は批等による	ス溜行	に向け	
	3	3 た活動が無かったため1件の支援となった。											
		0303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助(1台)を行った。3事業者から申請を受け交付決定したが、2者から辞退の申											
		し入れがあり1台の補助となった。											
		0301 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、伊東マンション地区の今後の移動手段に関するアンケートの結果に基づき、今後につ											
年	いて意見交換等の支援を行ったが、その他の交通空白地域等による運行に向けた地域の活動が無かったため2件の支援となった。 今後、地域の活動を注視し支援を広げていきたい。 をR 0302 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、新たな交通の実証実験の支援を行ったが、その他の別荘地等による運行に向けた活動												
-													
及	4	10302 伊豆同原地域文庫 が無かったため	型が使用的工模的去に多 件の支援となった。今	後、別荘地	の活動を	注視し支援	を広げてい	さたい。		このの注言		た一動	
評													
/==		0303 UDタクシー導力	人促進事業として車向の)購人補助((1台)を	行った。							
価													
		0301 伊豆高原地域デ	マンド型乗合タクシー紀	果検証会、	伊豆高原	地域交通利	便性向上検	討会に参加	したほか、/	八幡野漁港[自動運	転の視	
		察を行った。			/n			=1000		L 		- NEVE	
	R	0302 伊豆高原地域デー に関する相談に対		果快訨云、	伊豆高原	即以父通利	人。因此	討会に参加	しにはか、)	N.善フント	TEX C	の連行	
	5	0303 UDタクシー等)購入補助((1台) を	F行った。運	転手不足や	物価高騰等	もあってかん	タクシー事	業者か	らの導	
		入希望がなかった	こともあり、令和6年	度は予算化	されてい	ないが、今	後、改めて	UDタクシ	-導入補助に	こついて事業	者に	対し周	
			度に向けた導入要望なと	を伺ってい	いきたい。								
		0301 (達成状況)	В										
		 (実績評価) ・伊豆高	原地域において住民と	連進する由	でデマン	ドタクシー	の宝証運行の	の取組を行っ	ったほかった	· 通空白地位	ずの住口	₹ ∧の	
			などを行ってきた。	Œ1/3 9 O T					7/210/3 ()		WODIT!	20 105	
			き伊豆高原地区を中心		空白地域	の住民との	協働や、交流	通サービスを	を提供する民	間企業との)連携(こよる	
	ь		地域対策を進めていく	0									
		0302(達成状況)	D										
R	1	(実績評価) • 随時の	相談の地域での検討会	等に参加し,	てきたほ	か	T度までに見	川芷地等の世	1はが主休と	たって生活	か	を運行	
する際のマニュアルなどを整備してきた。											·Æ1J		
<u> </u>	では、												
ſā	FF												
1	ъ	0303(達成状況)	D										
		(実績評価) ・タクシ	/一運転手の不足傾向も	あり IIDE	ま而に限さ	うず タクミ	ノー各社の地	(車切入萃が	抑制されて	いろと考え	らわる	3	
			√E+7 1 ΔΣ. L. VE IΜΙΘΙ Ο	W.J. OD	- 100 IC PJX .	J 3 \ J J J		- 	7 1 1 Celleder	viocsk	J1 60	0	
		(今後の対応) ・伊豆地	対の状況としてUDタク	フシー購入剤	献助金の	交付団体が無	悪くなってき	きているが、	地域の事業	者の実情に	応じて	随時対	
		応してい	I <.										

					+12+西米/1	1	1	1	1	1			
	٦ <i>/</i>	- 利用促進に向けた取	Δ A	達成状況	指標数達成数	1	4	1	0	0			
	J4	が用促進に回げた取	TOEL	建成机加	達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
		 主な内容	管理指標	基準値	上が十	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		20,132			目標値	1	1	1	1	1			
	O	401 総合時刻表の作成	作成及び最新版の 維持(更新)	_	実績値	1	1	1				都市計画課	
			社付(史利)	*	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上	四味	
				R2	目標値	2	2	2	2	2		都市計	
	O ₄	402 としりティ・マネッス	実施回数	20	実績値	0	0					画課	
				D4	評価				0	0	以上		
		403 乗り方教室などのイベ	実施回数	R1	目標値実績値	2	2	2	2	2		都市計	
	04	サンス ントの実施	天旭山奴	20	2 4:1241	× 未達成	_	-			以上	画課	
				R1	目標値	2	2	2	2	2			
	O4	404 利用促進ツールの使い 方の周知	周知回数		実績値	0	0	1				都市計	
				20		× 未達成					以上	画課	
		0401 総合時刻表の作成と	して、公共交通マッ	プ(伊東駅	7周辺・信	中豆高原駅局	辺)を作成	じた。					
		0.400 trull 0.44 (11 7)	************************************	- 10 m		- 1 L 							
	0402 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。												
	3												
	O404 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗り方教室の開催を中止した。												
年	0401 総合時刻表の作成として、公共交通マップ(伊東駅周辺・伊豆高原駅周辺)の改訂版を作成した。												
	0402 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。今後、伊東市地域公共交通計画に基づき事業者と協働し実施し												
度	R	ていく。			1.000) C/C ₀ / 3	(D)KIPIL			ンチベロン	<i>////</i>		
₹	4	0403 新型コロナウイルスタ	感染症拡大の影響に	より、実施	を見合れ	Dせた。今後	(人) 伊東市地	域公共交通	計画に基づる	き事業者と	劦働し	実施し	
01		ていく。				- 00 11 1 1 1 1	- 1517						
価		O4O4 新型コロナウイルス! 布による利用促進ツ・										フシ配	
		0401 公共交通マップ(伊									,,,,		
				an (1-5/CZ)	۸ و د ال الاسار	32(2117)		12 21 100 10 10 1	121-9/3(%)(10-2	10214 0 700			
		0402 市内高校統合に伴い、	バス事業者と連携	して、高核	生に向け	ナモビリティ	マネジメン	ト(バス利)	用説明会)を	を実施した。	,		
	R		-		-15								
	5	0403 バス事業者と合同で	乗り万教室(湯川保	育園) を実	『施した。								
		 0404 バス事業者と連携し ⁻	て、高校生に向け利	用促進ツー	-ル (バン	ス時刻表アフ	かり の利用	方法を周知	した。			-	
		01017.00		/13 //C/C	,,,,	(13/13/10)	J 7 93 13/13	// J/A C/-9/10	070				
		O4O1(達成状況) A											
			7 	+ +*+==+==	フ 生 ば ロケ	治いっと会	4 + 1) + + + ·	3 → 1.4	۸ ۸ ۵	- 	1-	E3#01	
		(実績評価) ・例年、バス てきた。	〈事業者と協議し、「	ヤか文援す	る生活路	緑バスを含む	めた公共父親	通マップと約	総合時刻表を	史新し、巾		配架し	
			機関(バス・鉄道)	を利用した	すい情報	と生活・観	光情報を合え	わせて提供で	することで利	用促進を図	るべ	<. W	
			公共交通マップの作				01131122	12 0 000000	, 000 (1)			** **	
		O4O2(達成状況) D											
			- 仮への対応 まなる:	- L-5 M	\a + \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ニ トフジエ	 	TD40+4- +					
C	Þ	(実績評価) •市内高校# 	事編への対応を行う。	_ C C、円	消なハ人	による母で	仪に貧9る!	取組を <u>付った</u>	C.				
E	18	(今後の対応) ・市内の人流	が大きく変化する	施設等の開	業・開設	や、イベン	トなどを注	視し、公共で	を通利用にも	障があるこ	ことが	想定さ	
[6	当		事前にバス事業者										
=	平	O4O3(達成状況) D											
ā	Т		け物ケジのに「チャ) 古 # 完	ち中かり	国からはも	アミガブナー ナ	_					
ſi	⊞	(実績評価) •令和5年度 	は数年ぶりに「乗り	ノク 教室」 な	と美他し、	、園からはぬ	け評でめつな	_0					
l '		 (今後の対応)	ると協議し、通塾や である。	習い事など	によりバ	ス利用が想	定される南	小学校以南の	り小学校等で	実施するな	えどの	検討を	
		行っていく。											
		O4O4(達成状況) D											
		(中建証体)「エビロー	, コウジ, J ヽ, L 洋手h	レルナー	バフ古光	*************************************	フプログチョ	田児准ち回	, t=				
		(実 績 評 価) • モビリティ 	マネジメント活動	_HE(,	ハ人事業	ロリ時刻表	アフリの利	世に進む図っ	ノに。				
		(今後の対応) ・バス事業者	話に対し、時刻表ア	プリの高機	能化や実	運行との連	動について	要請をしてい	1<.				
							-						

					指標数	2	2	2	2	2		
	05	5 観光移動での利用促	進	達成状況	達成数	2	2	2	0	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		観光周遊の促進に向け		R2	目標値	1	1	1	1	1		都市計
	05	501 既知過避り促進に同り	取組回数	10	実績値	1	1	1				画課
	ш						0 14:11	〇 達成			以上	
		502 観光に役立つ情報の提	+0/4-0**	R2	目標値	1	1	1	1	1		都市計
	I O	502 観光に受立う情報の提供	提供回数	1 🗆	実績値	1	1				以上	画課
		0501 伊豆高原駅改札前に	 吉阿拉安笠のサービ	プスを消えし	評価	〇 達成	○ 達成	〇 達成			以上	
	R	000 伊立向凉亭成代前に,	逐門技合寺のグーと	人で待入し	ルこり11	トーク페木で	.政国 ひた。					
	3	0502 伊豆高原駅改札前の	サイネージ端末を利	用した遠隔	接客等に	よる 交 诵・	観光情報の	提供を行った	た。			
		5 5 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E 1 5 E	2 1 1 2 3.0511 2 13	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-0.0702	200 0113 112 - 2	J.C.D. (C. 13 - 7	_0			
年		0501 伊豆高原駅改札前に	遠隔接客等のサービ	えを導入し	た端末を	設置した。						
度	R											
評価		0502 伊豆高原駅改札前の	サイネージ端末を利	用した遠隔	接客等に	よる交通・	観光情報の	提供を行った	た。			
ІШ	'-	 0501 伊豆高原駅改札前に	おいて ごジカルサ	・ノウージ語	士去乳魚	1 六海。	短い (単記の)	担供を行っ:	=			
	R	000 伊豆高原新以札削に	かいて、テンタルツ	1个一ン姉	不で改画	■し、父迪・	能力で1月ギ収Uノ	症状を17つ7	٥			
	5	0502 伊豆高原駅改札前に	おいて、デジタルサ	イネージ端	まを設置	引,交诵•	観光情報の	提供を行った	た。			
		0501 (達成状況) 🗛										
C	₽		光拠点の一つである の観光交通情報等も						5先別のバス	は時刻表を表	示する	るとと
			Rにはバスの案内所	0.00		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			= 1二 年1117寸	が安ま店に	いかすり	1.14.1++
F	間		にはハスの条内別で							、近合も関い	1 (29)	VIД Д
_		O502(達成状況) A				00.00						
Č	平	71										
	·m								5先別のバス	、時刻表を表	示する	るとと
	ш		D観光交通情報等も									
			Rにはバスの案内所							で遊客も使い	かすり	い公共
		父週マップを	を作成し、パンフレ	ツトフック	に配架り	るなこ、情報	放へのアク1	ピス性を高め	o coic.			

担当課	建設課			施策3-70	の全指標達成	戊率	
政策目標 3	政策目標 3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち		R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 7	道路環境の整備	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	市域において円滑・安全・安心・快適な道路環境	達成数	9	8	6	0	0
日拍9安	が維持できている	達成率	56.3%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%

指標数 2 2 2 2														
1 1	成果指標(KPI)	達成数達成率	0.0%	0.0%	O 0.0%	0.0%	0.0%							
		基準値	建 展 平	0.0% R3	0.0%	0.0% R5	0.0% R6	0.0% R7	単位	担当課				
成果		至手追 R1	目標値	0	0	0	0	0						
指標 1	道路瑕疵による事故発生件数	0.115	実績値	2	5	3			件	建設課				
		〇件			× 未達成									
目標		は好な道路環境を保つために、道路パトロールの実施、計画的な修繕及び補修に関する市民要望への迅速かつ的確に対いて被害を無くす。												
考え														
370		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果		R1	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5		3				
指標 2	幹線市道の整備率	95.7%	実績値	95.8	95.9	96.2			%	建設課				
_					× 未達成				以上					
目標	₫ 幹線市道の狭隘箇所やすれ違い困難	箇所など	を解消	し、良好	な道路環:	境を創出す	する。							
考え														
57.		速な対応及	7、「幹線道	[路等の整備	を推進した	が、日標値の	の達成には至	ころなかった	= .					
	1(実 績 評 価)・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。													
R	(次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。													
3														
年度	2(実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。													
及	(勿在度終正点)・戦の強く田地が進た行い、丁重差毛を日指す													
	(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。													
	1(実 績 評 価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかっ													
	た。													
R	(次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。													
4														
年度	2(実 績 評 価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。													
1X	(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。													
	小十 次 少元 一 小元 一 一													
	1(実 績 評 価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかっ													
	た。													
R	(次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面	(次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。												
5年		軟件を伝え	ーレがつ	キャが ロ	挿店の法式	ヒエこなか。	- t-							
度	2(実 績 評 価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。													
	(次年度修正点) ・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。													
	ON TABLERY TO THE COURT OF THE COURTS													
	1 (達成状況)													
		オカナナウマ	フドナヘックン		t++++++ + -	₩ D+##	ひたけにはて	マン たか ナ	_					
ф	(実績評価) ・市民からの要望に対する迅	迷な刈心及	び軒級追	!姶寺の整備	を推進した!	い、日標値の	の 達成には á	Eりなかった						
	(今後の対応)・交通量の少ない市道の路面	や沿道樹木	の状態押	握等に細小	の注意を払	い. 良好なii	首路環境を日	目指す。						
間	7.62 - 2.75 - 2.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- 1, (/E/J C		مرد الارتداد			,						
評	2 (達成状況)													
oT														
価	(実績評価)・用地取得困難箇所以外は、	整備を行う	ことがで	きたが、目	標値の達成	に至らなかっ	った。							
	(今後の対応)・引き続き、粘り強く用地交	法を行い	丁車差千	を日均さ										
		71 V LT 15 VEN	工尹包士	C 11 1 9 °										

					指標数	14	14	14	14	14		基本的な取 目・主な内		
2	į	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁二	1ード)	達成数達成率	9 64.3%	8 57.1%	6 42.9%	0.0%	0.0%		マエスパ アの達成状 沢		
					指標数	6	6	6	6	6		20		
	O1 円滑な道路環境の整備				達成数	2	2	1	0	0				
ı		えた内 恋	英田七 播	基準値	達成率	33.3% R3	33.3%	16.7% R5	0.0% R6	0.0% R7	光片	担当課		
		主な内容	管理指標	整準恒 R1	目標値	1	R4 1	1	1	1		担当砞		
	01	101 道路交通量の把握	交通量調査実施回		実績値	0	1	0		'		建設課		
			数	00	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成			以上			
	01	102 市道の利用に対する市	3市 道路整備について 満足している市民	R2	目標値 実績値	47.9 45.4	48.4 44.4	48.9 41.8	49.4	49.9	%	建設課		
	U	102 民の声の把握	周定しているII氏 の割合	47.4%	評 価		× 未達成				以上	建設床		
		+^/	あ/ #27√ 三	R1	目標値	89.3	89.8	90.2	90.7	91.2	km			
	01	103 幹線市道の計画的な整 備	整備延長 (累計)	88.4km	実績値	88.5	88.6					建設課		
				R1	評価目標値	× 未達成 1	× 未達成 1	× 未達成 1	1	1	以上			
	01	104 渋滞の緩和対策の検討	県への要望回数	_	実績値	1	1	1	'	'		建設課		
			(要望書として)	1 🗆	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成			以上			
	_	105 円滑な交通のための道	+0.46-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	R1	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5	%	7-h = 0 = m		
	U1	105 路網整備	幹線市道の整備率	95.7%	実績値評価	95.8	95.9 × 未達成	96.2			以上	建設課		
				R2	目標値	7 木建成	200	200	200	200				
	01	106 移住定住促進道路整備	年間整備延長	Om	実績値	7	0	0			m	建設課		
					評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成			以上			
		0101 新規改良事業が無いた 0102 市民からの要望に対す				は出生したか	* ロ博店の	法成にける	になかった					
	R	0103 用地取得困難箇所以外							547.710					
		0104 国道135号の川奈・							る。					
		O105 用地取得困難箇所以外					は至らなか	った。						
		0106 各自治会の年次計画に沿って、交差点部の薄層カラー舗装を実施した。												
		0101 交通量の多い狭隘道路 0102 市民からの要望に対し)整備を推	能したが	日煙値の達	成には至ら	なかった					
		O1O2 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。 今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。												
0103 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。														
年	R 4	今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。 4 O1O4 国道135号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。												
度	4	0104 国道 135号の川宗 0105 用地取得困難箇所以外												
区		今後も用地確保可能な				(ICO)		,						
評		0106 各自治会の年次計画は会後も各自治会と調整				匠至らず、	整備をする	ことができ	なかった。					
価		今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。 O1O1 新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。今後も円滑な道路環境の整備のため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。												
		査を実施する。 0102 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく												
	R	所から整備を進めていく。 O1O3 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。												
	5	0104 国道135号の川奈・	・吉田地区間及び八	幡野地区の)交通渋滞	開消のため	の要望を行	った。						
		0105 用地取得困難箇所以外 ていく。	トは、整備を行うこ	とができた	が、目標	標値の達成に	至らなかっ	た。今後も	用地確保可能	能な箇所から	う整備	を進め		
		0106 各自治会の年次計画に 続けながら整備を進る		きを進めた	が、実施	匠至らず、	整備をする	ことができ	なかった。 ⁵	今後も各自治	台会と	調整を		
		O1O1 (達成状況) C												
		(実績評価)・交通量の多												
		(今後の対応) ・今後も円滑 0102 (達成状況) D	な道路環境の整備が	こめ、交通	量の多い	狭隘道路の	交通量調査	を実施する。						
		(実績評価) ・市民からの	 要望に対し迅速な対	対応及び幹	線道路等	の整備を推	進したが、「	目標値の達成	なには至らな	なかった。				
d	ם	(今後の対応) ・今後も用地	確保可能な箇所から											
0103 (達成状況) B- (実績評価) ・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった														
R	ו וכ			Eりなかった	_0									
(今後の対応) ・今後も用地取得に努め、幹線市道の計画的な整備を行っていく。 0104 (達成状況) A (中は記では、日道1.25日の川奈・吉田地区間及び川崎野地区の方泽光学解説のための東望を行った。														
97	 	(実績評価) ・国道135					解消のための	の要望を行っ	った。					
佰	(今後の対応) ・引き続き、渋滞の緩和対策について国県へ要望していく。													
,,,		O1O5 (達成状況) B- (実績評価) • 用地取得困	難箇所以外は、整備	帯を行う <i>こ</i>	とができ	たが、月標	値の達成に	至らなかった	=					
			困難な状況があるが											
		0106 (達成状況) С	The English	エカケケー・・	++14.1	+ + 4"	になっさ	w#++-		-b) +				
		(実績評価) (今後の対応) ・今後も各自	年次計画に沿って、 治会と調整を続ける				に至らず、	怪倆をするこ	ことかできる	いった。				
		7 2 27 3 7 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		3.70 フェ州										

		, 道路施設等の適切な		達成状況	指標数 達成数	6		6		6 5	6	6		
	進			连线机加	達成率	100.0%	. 10	00.0%		3.3%	0.0%	0.0%		
	主な内	容	管理指標	基準値		R3		R4	F	₹5	R6	R7	単位	担当課
		員箇所等の早	道路パトロール実	R1	目標値 実績値	24 28		24 26		24 26	24	24	-	建設課
	期発見 • <u>!</u>	早期 伸修	施回数	240	評価	〇 達成	0	達成		達成			以上	74071011
		コール等によ	修繕等の処理率	R1	目標値実績値	100		100		100	100	100	%	建設課
	OZOZ る早期発!	見・早期補修		100%	評価		0		0	達成				建议体
	0203 舗装長寿徒	長寿命化のための	修繕延長	R1	目標値 実績値	1,873 4,040	_	2,373 4,786		2,873 5,343	3,373	3,873	m	建設課
	5203 計画的な修繕(累計)			1,373m	評価	〇 達成	0	達成		<u>),343</u> 達成			以上	建议床
		±=n.	防護柵、標識等の	R1	目標値	2	_	2		2	2	2	件	7±1=0.=m
	0204 交通安全	他設の設直	交通安全施設設置 工事発注件数	2件	実績値評価	∠ ○ 達成	0	4 達成		3 達成			以上	建設課
	。。。 道路施設(の長寿命化	15/71X 10 - WL	R1	目標値	41		46		51	56	61	橋	7-h = 0 = m
	0205 (累計)	,520,500,10	修繕橋りょう数	21橋	実績値評価	42 〇 達成	2	49 達成		50 未達成			以上	建設課
-				R2	目標値	1		1	, ,	1	1	1	工法	
	0206 先進技術(の活用	活用工法数	O工法	実績値評価	○ 達成	0	1 達成	0	<u>1</u> 達成			以上	建設課
			│ ─ルを市内全域で行	い、早期発							時における	パトロールの		によ
		険箇所等の把持	屋に努めた。 確認及び業者依頼を	行い一流に	た雑性	油に対け	z	レがブキ	· /=					
			唯談及び集有依頼を 工法検討した結果、											
	0204 市民要		ルなどにより発見し											
			発注することができ 言技術)を取入れ、				9 60		さに	0				
	0201 月2回	の定期パトロー	ールを市内全域で行				上が ⁻	できた。	また、	、大雨	時における	パトロールの	の実施	iによ
年		険箇所等の把持 た報告 現場	屋に努めた。 確認及び業者依頼を	行い 済切	た維持急	神に努め	<u> </u>	レができ	· F					
度			事にて、延長L=74							きた。				
評			コールなどにより発								ができた。			
価			発注することができ こおいて、ポールア											
100	0201 月2回	O2O6 道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。 O2O1 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施によ												
		険箇所等の把抗 な報告、現場で	産に劣めた。 確認及び業者依頼を	行い、適切	な維持管	・ 理に努め、	5-	レができ	<i>f=</i> .					
	R 0203 城ケ崎	線舗装改良工	事にて、延長L=55	7m施工を	行い、E	標値を達成	対する	ることが	でき					
		O2O4 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。 O2O5 同一地域でまとめて発注することができたが、目標値を達成することができなかった。今後とも道路施設の適切な維持管理に努め												
		化を図る。	THE SOLENCE		他で住め	19 DCC/	J C 6	2/4/1/2	/ C 0	ノ反こ		/ブ(回 9.7/4 小庄)	дЕЩ	:1050
			こおいて、ポールア	ンカールー	·ツを取 <i>7</i>	れ、施工を	効率(の向上を	図つ	た。				
	0201 (達成 (実績評価)		<mark>│</mark> ⊵期パトロールを市区	内全域で行	い、早期	発見・補修	を行	うこと;	ができ	きた。ま	た、大雨時	持における/^	% ├ □ -	ールの
	(A/4 A + + +)		危険箇所等の把握は	対全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールのこ努めた。 実施し、危険箇所については修繕等の処理を実施しているが、道路パトロールから修繕ま										
	(今後の対応))追路バトロールを E見直し、危険箇所の				手部	900処理	を実施	也してい	るか、追路	§ハトロール	ופיתי	修繕ま
	0202(達成	1-												
	(実績評価)	・ 速やかな軒	B告、現場確認及び)	業者依頼を	行い、適	切な維持管	建に	上劣める	ことた	いできた	-0			
	(今後の対応)	・引き続き、	道路パトロール等に	こよる早期	発見・早	期補修、適	切った	c維持管:	理に多	多める。				
	0203(達成													
4	(実績評価)	・城ケ崎線部	構装改良工事にて、E	目標値を達	成するこ	とができた	-0							
間	(今後の対応)	・引き続き、	舗装長寿命化のため	かの計画的	な修繕に	努める。								
<u>=</u> 1	0204 (達成 (実績評価)		D道路パトロールなる	どにより発	見した危	険箇所の製	経備を	を行い、「	目標値	直を達成	はすることか	ができた。		
佂			市民要望や道路パ											
	0205(達成	0205 (達成状況)												
		(実績評価) ・同一地域でまとめて発注することができたが、令和5年度は目標値を達成することができなかった。												
	(今後の対応) ・今後とも道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。													
	O2O6 (達成状況) A (実績評価) ・道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。													
	(今後の対応) ・今後も先進技術を取り入れていく。													
				·										

				指標数	2	2	2	2	2]			
	03 安全で快適な歩道空間の推進			達成状況	達成数	1	0	0	0	0			
						達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		歩道のバリフ.	コリール	バリアフリー化路	R1	目標値	12	14	16	18	20	路線	
	0	301 多道のバッグ.	ノリール		10路線	実績値	12	12	12			ED INK	建設課
				11/2/3/2		評価		× 未達成	× 未達成			以上	
		歩道のバリア		歩道のバリアフ	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	
	0	302 に関する市民(の声の把	リー化実施率	100%	実績値	0	0	0			/0	建設課
		握						× 未達成	× 未達成				
		0301 横断歩道設	置に伴うな	ほ道の切下げにおい	て、バリア	アフリーを	き慮し施工	した。					
	R 3												
	3	0302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かった。											
左	E	0301 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、											
尽	₹R	安全安心な歩道整備の推進を図る。											
5		- 0302 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、											
ſċ		安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。											
	R	O3O1 民地側において物理的に困難な箇所があり、バリアフリー化が進まない状況である。歩道のバリアフリー化の必要路線の調査を行い、歩道整備の推進を図っていく。											
	5	0302 歩道のバリ	アフリー(上に関する市民要望	は無かった	-0							
		O3O1 (達成状)	兄) C										
		(実績評価)・2	歩道のバリ	アフリー化について	ては、民地	側におい	て物理的に	困難な箇所が	があり、バリ	アフリー化	どが進まない	状況"	であ
	中	る。											
	間	(今後の対応) ・ 2	歩道のバリ	アフリー化の必要路	烙線の調査	を行い、	歩道整備の	推進を図って	ていく。				
	評	0302(達成状)	兄) —										
	価	(実績評価) • 5	歩道のバリ	アフリー化に関する	る市民要望	は無かっ	た。						
		(今後の対応) ・引き続き、バリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。											